



Optimal Biz Apple School Manager (ASM) マニュアル (利用方法・年次更新手順)

最終更新日 2024 年 10 月 20 日
(Web サイト ver.9.22.0)
株式会社オプティム

はじめに

本マニュアルでは、Optimal Biz（以下、本製品と呼ぶ）の操作ほか、各機能の概要、画面の説明、設定操作について説明しています。

また、要点となる各種の内容を以下に記載しています。これらの内容をご理解の上、マニュアルをお読みください。

名称・呼称

本マニュアルに登場する特定の企業、人について、以下の定義で記載しています。

名称	説明
サービス企業	本製品を提供する企業。
管理者	本製品の管理サイト（機器の管理・運用を行う Web サイト）を運用する者。
端末使用者	本製品で管理している端末を使用する者。
システム管理者	企業の社内システム（サーバー・インフラなど）を管理する者。

注意・ポイントマーク

操作を行う場合に注意する点や、操作のポイントとなる点を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	データの破損や消失など、特に注意していただきたい内容を記載しています。
	操作のポイントや知っておくと便利な内容を記載しています。

記号

画面に表示されるボタンやメニュー、キーボードのキーなどを示す場合は、以下の記号で記載しています。

マーク	説明
[]	ボタン、メニュー、タブ、リンク、チェックボックス、ラジオボタンなどの名称を示しています。
「 」	画面名、機能名、項目名、マニュアル内の参照先などを示しています。
『 』	マニュアルや資料などの名称を示しています。
< >	キーボードなどのハードキー名称（スペースキーは〈スペース〉と表記）を示しています。

参照マーク

他のマニュアルや他のページへなどの参照を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	他のページや Web サイトへの参照を示しています。クリックすると該当箇所にジャンプします。
	セクション内の画面への参照を示しています。クリックすると該当の画面にジャンプします。
	他のマニュアルや資料への参照を示しています。

用語集

不明な用語は、以下を参照してください。

 [『よくあるご質問 \(FAQ\)』](#)

免責事項

- 本マニュアルは、ユーザー種別が「管理者」のユーザーを対象としています。「管理者」以外のユーザー種別でログインした場合は、操作が制限されます。
- iPad OS の操作は iOS と同様です。差異がある場合は iPad OS 用の記載をしています。
- 画面上のバージョン表記は、実際の表示と異なる場合があります。
- 本マニュアルに記載されている Web サイトの URL は、予告なく変更される場合があります。
- OS のバージョンやブラウザにより、一部の画面や操作が異なる場合があります。本マニュアルでは、Google Chrome を例に説明しています。

登録商標

- Apple、iPad、iPadOS、iPhone、Mac、macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は、Apple Inc.の OS 名称です。
IOS は、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。
- Android、Google Chrome、Google Cloud、Google マップ、Google Play、Google Workspace は、Google LLC の商標です。
- Microsoft、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、各社の登録商標および商標です。

目次

1 Apple School Manager (ASM)	5
1.1 Apple School Manager とは	6
1.2 事前に準備すること	7
2 Automated Device Enrollment (ADE)	8
2.1 ADE トークンの新規取得	9
2.1.1 ADE トークンをダウンロードする	9
2.1.2 ADE トークンをアップロードする	16
2.2 ADE を利用して端末を管理する	18
2.2.1 ASM で端末をサーバーに割り当てる	18
2.2.2 ユーザー／クラスを登録する	24
2.2.3 端末をライセンス認証する	25
2.2.4 「クラスルーム」を配信する	26
2.3 ADE トークンの年次更新	31
2.3.1 ADE トークンの有効期限を確認する	31
2.3.2 ADE トークンをダウンロードする	33
2.3.3 ADE トークンをアップロードする	38
3 App とブック	40
3.1 「App とブック」を利用するには	41
3.1.1 ASM でアプリを購入する	41
3.1.2 「App とブック」場所のトークンをアップロードする	47
3.2 アプリを配信する	49
3.3 書籍を配信する	49
3.3.1 購入した書籍を確認する	49
3.3.2 「App とブック」ライセンスを仮割り当てる	50
3.3.2.1 「App とブック」設定テンプレートを使用する場合	50
3.3.2.2 「App とブック」設定テンプレートを使用しない場合	53
3.3.2.3 組織に一括で「App とブック」ライセンスを仮割り当てる場合	55
3.3.3 「App とブック」ライセンスを本割り当てる	57
3.3.4 配信した書籍を iOS 端末で同意する	58
3.4 「App とブック」場所のトークンの年次更新	59
3.4.1 「App とブック」場所のトークンの有効期限を確認する	59
3.4.2 「App とブック」場所のトークンをダウンロードする	60
3.4.3 「App とブック」場所のトークンをアップロードする	64

1 Apple School Manager (ASM)

1.1 Apple School Manager とは

Apple School Manager (ASM) とは、Apple が提供する教育機関向けのポータルサイトです。教育機関のシステム管理者を支援します。すべての Managed Apple ID (※1) を自動的に作成できます。

ASM は、以下の 2 つの機能の組み合わせです。

● Automated Device Enrollment (ADE)

端末管理のための機能です。ADE を利用すると企業が iOS 端末を導入するとき、関連する作業を簡略化できます。また、端末管理ができる監視対象モードを利用したり、端末使用者が端末から MDM プロファイルを削除することを禁止することもできます。

🔗 「Automated Device Enrollment (ADE)」 8 ページ

🔍 ADE を利用するには、メールアドレスと D-U-N-S ナンバー（企業識別コード）が必要です。D-U-N-S ナンバーについては、以下の Apple のサイトを確認してください。

🔗 <https://developer.apple.com/jp/support/D-U-N-S/>

● App とブック

有料のアプリまたは書籍のライセンスを購入して管理し、同時に複数のユーザー、組織および機器に配信することができます。

🔗 「App とブック」 40 ページ

また、本製品と ASM を連携すると、以下のこともできるようになります。

● ASM に登録されている情報（ユーザーやクラスなど）の自動取得

● 「クラスルーム」(※2) を利用するための教育構成プロファイルの自動作成

● 端末を共有 iPad (※3) として使用するための ADE 定義プロファイルの作成

※1：Managed Apple ID とは、教育機関向けの Apple ID です。Managed Apple ID を使用して、生徒は iCloud や共有 iPad にアクセスできます。学校は必要に応じた機能を制御できます。

※2：「クラスルーム」とは、教師が生徒の端末を制御できるアプリです。詳細については、以下を参照してください。

🔗 <https://help.apple.com/classroom/ipad/1.0/#/>

※3：共有 iPad とは、端末を複数の生徒で共有し、生徒ごとに個別の学習体験を提供できる機能です。

生徒はパスワードまたは 4 桁の PIN（暗証番号）で共有 iPad にログインすると、生徒ごとの学習環境にアクセスできます。詳細については、以下を参照してください。

🔗 <https://support.apple.com/ja-jp/guide/deployment/dep9a34c2ba2/1/web/1.0>

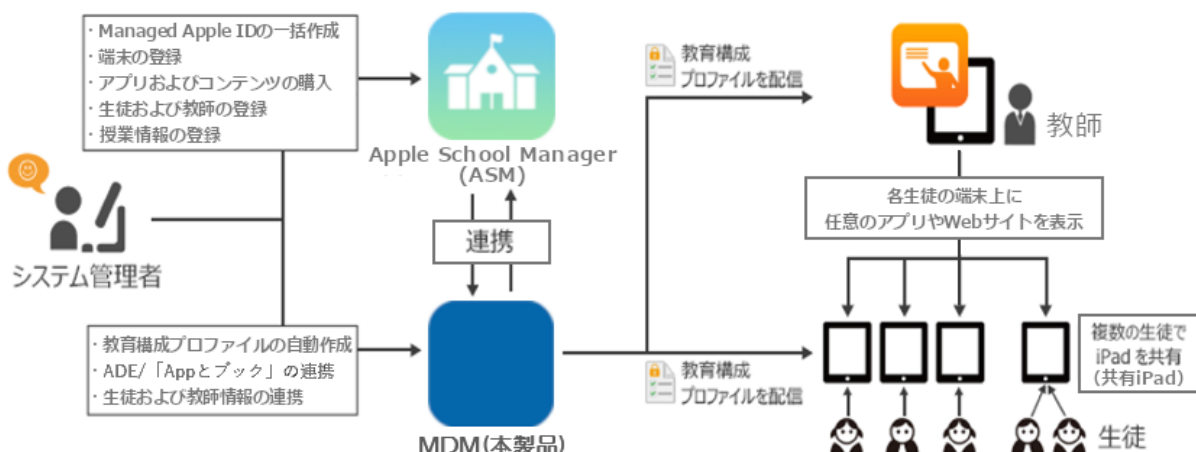
🔍 ASM の利用規約が改訂された場合は、改訂後の利用規約に同意しないと ASM を利用できません。詳細については、以下の Apple のサイトを確認してください。

🔗 <https://support.apple.com/ja-jp/HT203063>

🔍 ASM の詳細については、以下の Apple School Manager ユーザーガイドを参照してください。

🔗 <https://support.apple.com/ja-jp/guide/apple-school-manager/welcome/web>

🔍 本製品の管理サイトでは、共有 iPad を「Shared iPad」と表記しています。



1.2 事前に準備すること

ASM を利用するには、以下の準備をしてください。

- ASM に対応した Automated Device Enrollment (ADE) 対応の iPad 端末を購入する
- Apple Customer Number (お客様番号) を ASM (<https://school.apple.com/>) に登録する
- ✎ Apple Customer Number (お客様番号) については、Apple に問い合わせてください。
- ✎ 共有 iPad として使用する端末は、32GB 以上の容量が必要です。

2 Automated Device Enrollment (ADE)

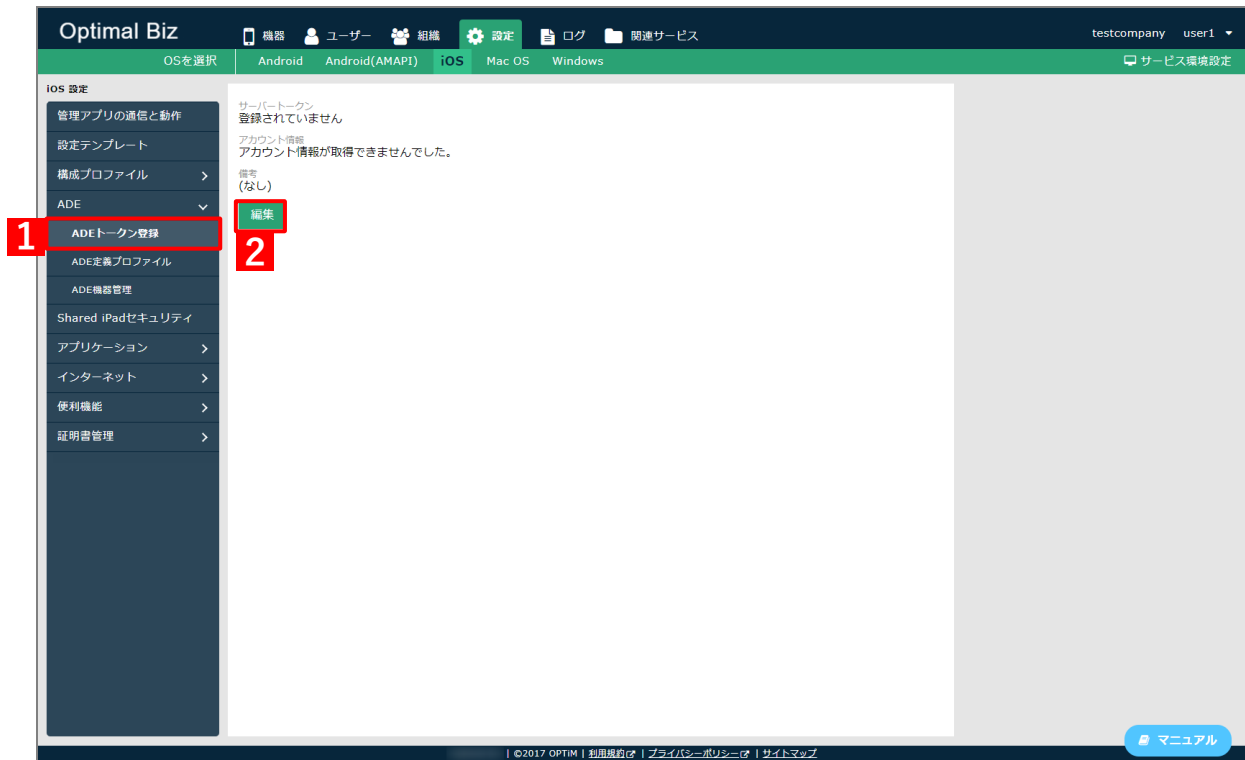
2.1 ADE トークンの新規取得

ADE トークンとは、ADE と管理サイトを紐づけるためのトークンです。これを ASM でダウンロードし、管理サイトにアップロードします。

2.1.1 ADE トークンをダウンロードする

以下の手順で、ASM から ADE トークンをダウンロードします。

- 【1】 [設定] → [iOS] → [ADE] → [ADE トークン登録] をクリックします。
- 【2】 [編集] をクリックします。



【3】 [ダウンロード] をクリックします。

⇒ 手順【15】で必要となる「サーバー公開鍵証明書 (PEM) ファイル」のダウンロードが開始されます。
任意の場所を指定して、ファイルを保存してください。

【4】 「<https://school.apple.com>」 をクリックします。

⇒ ASM のサイトが表示されます。以降の操作は、ASM のサイトで行います。

🔍 対応ブラウザは、Microsoft Edge、Google Chrome 35 以上、Safari 9 以上です。

1. サーバー公開鍵証明書(PEM)ファイルの生成とダウンロード

サーバー公開鍵証明書(PEM)ファイルをダウンロードしてください。

3 ダウンロード

2. サーバートークンの取得

以下のリンクよりMDMサーバー登録用のサーバートークンを取得してください。サーバートークンはサーバー公開鍵証明書(PEM)をアップロードすることで取得できます。

Apple Business Manager: <https://business.apple.com>

Apple School Manager: **4** <https://school.apple.com>

※サーバートークンを定期的に更新する必要があります。有効期限が切れた場合、本製品はご利用いただけなくなります。

3. サーバートークンファイルの登録

2.より作成したサーバートークンファイルを指定してください。

アップロード

ファイルを選択 | 選択されていません

備考 (※サーバートークン発行の際に使用されたApple IDを以下に記載することを推奨します。)

取消 保存

【5】 管理者用の「Apple ID」を入力します。

【6】 ➡ をクリックします。

⇒ 「パスワード」入力欄が表示されます。

Apple School

所属する組織のデバイスやApp、アカウントを管理します。

5 Apple ID **6** ➡

☐ Apple IDをブラウザに保存

[管理対象Apple IDまたはパスワードをお忘れですか?](#)

まだApple Schoolになっていませんか? [今すぐ登録する。](#)

【7】 「パスワード」を入力します。

【8】  をクリックします。

⇒ 本人確認用の「確認コード」を受け取る電話番号を選択する画面が表示されます。



The screenshot shows the Apple School login interface. At the top is the Apple logo followed by the word "School". Below this is the text "所属する組織のデバイスやApp、アカウントを管理します。" (Manage devices, apps, and accounts for the organization you belong to). There is a password input field with a red box around it and a red "7" to its left. To the right of the password field is a red box with a red "8" and a next button icon. Below the password field is a checkbox labeled "Apple IDをブラウザに保存" (Save Apple ID to browser). At the bottom, there are two links: "管理対象Apple IDまたはパスワードをお忘れですか？" (Forgot Apple ID or password?) and "まだApple Schoolになっていませんか？今すぐ登録する。" (Not yet an Apple School? Register now).

【9】 「確認コード」を受け取る電話番号を選択します。

⇒ 選択した電話番号の端末に「確認コード」がSMSで送信されます。

 複数の電話番号が登録されている場合は、選択肢が表示されます。



The screenshot shows the Apple School verification interface. At the top is the Apple logo followed by the word "School". Below this is the text "本人確認" (Verify person). There is a list of phone numbers with red boxes around them and a red "9" to the left of the first one. Each phone number is followed by "SMS" and a right arrow. Below the list is the text "確認コードの送信先に使用する電話番号を選択してください。" (Select a phone number to use for sending the verification code). At the bottom, there is a link: "これらの電話番号にアクセスできませんか？" (Can't access these phone numbers?).

【10】受信したメッセージを確認し、「確認コード」を入力します。

⇒ 6桁の入力が終わると、自動的に次の画面に進みます。

❗ 「確認コード」に誤りがあるとログインできず、手順【5】の「Apple ID」入力画面に戻ります。



Apple School
2ファクタ認証

10

確認コードを含むテキストメッセージを.....に送信しました。続けるにはコードを入力してください。

[他の電話番号を使用](#) | [その他のオプション](#)

❗ 「確認コード」の入力後に以下の画面が表示される場合があります。(A) [信頼する] をクリックすると、次回以降に同端末の同ブラウザからサインインするとき、「確認コード」の入力が不要になります。



このブラウザを信頼しますか？

このブラウザを信頼できるものとして選択すると、次回サインイン時に確認コードの入力が不要になります。

[後で行う](#) [信頼しない](#) **(A)** [信頼する](#)

【11】 [アカウント] をクリックします。



【12】 [環境設定] をクリックします。



【13】「MDM サーバ」の  をクリックします。

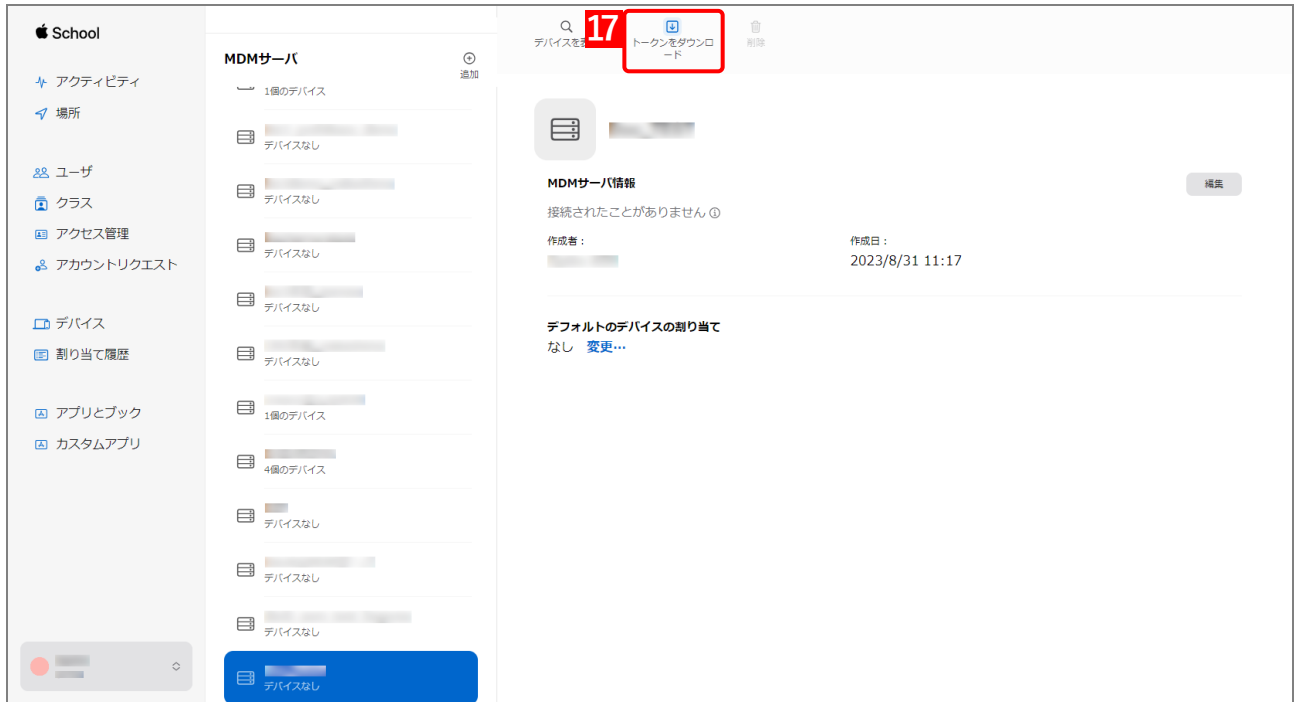


【14】「MDM サーバ情報」の「MDM サーバ名」に、任意の名前を入力します。

【15】[ファイルを選択...]をクリックし、手順【3】で「ダウンロードしたサーバー公開鍵証明書 (PEM)」ファイルを指定します。

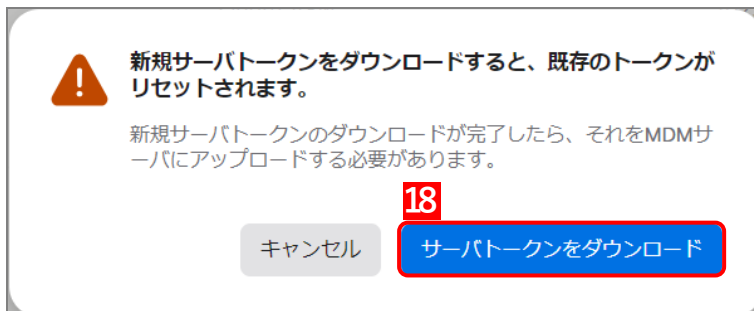
【16】[保存]をクリックします。



【17】 [トークンをダウンロード] をクリックします。**【18】 [サーバトークンをダウンロード] をクリックします。**

⇒ ADE トークンのダウンロードが開始されます。任意の場所を指定して、ファイルを保存してください。

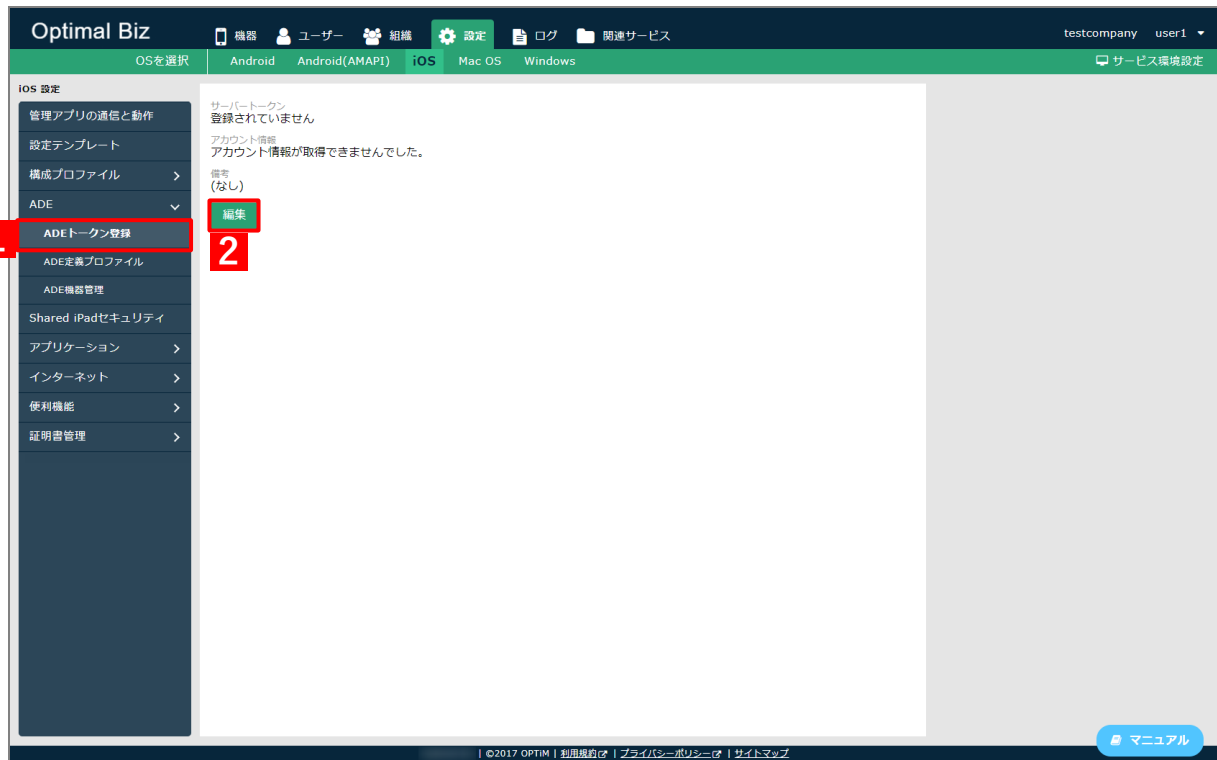
📌 ダウンロードした ADE トークンは、速やかに管理サイトにアップロードしてください。アップロードせずに長時間経過すると、管理サイトとの通信ができなくなることがあります。



2.1.2 ADE トークンをアップロードする

以下の手順で、ダウンロードした ADE トークンを管理サイトにアップロードします。

- [1]** [設定] → [iOS] → [ADE] → [ADE トークン登録] をクリックします。
- [2]** [編集] をクリックします。



- [3]** [ファイルを選択] をクリックし、「ADE トークンをダウンロードする」でダウンロードした ADE トークンを指定します。
⇒ (A) 選択したファイル名が [ファイルを選択] の右側に表示されます。
- [4]** 「備考」を入力します。
☒ ASM サインイン時の Apple ID、および ADE トークンの取得日の入力をお勧めします。
- [5]** [保存] をクリックします。

1. サーバー公開鍵証明書(PEM)ファイルの生成とダウンロード

サーバー公開鍵証明書(PEM)ファイルをダウンロードしてください。

[ダウンロード](#)

2. サーバートークンの取得

以下のリンクよりMDMサーバー登録用のサーバートークンを取得してください。サーバートークンはサーバー公開鍵証明書(PEM)をアップロードすることで取得できます。

Apple Business Manager: <https://business.apple.com/>

Apple School Manager: <https://school.apple.com/>

※サーバートークンを定期的に更新する必要があります。有効期限が切れた場合、本製品はご利用いただけなくなります。

3. サーバートークンファイルの登録

2より作成したサーバートークンファイル(A)を指定してください。

3 [ファイルを選択](#)

4 備考 (※サーバートークン発行の際に使用されたApple IDを以下に記載することを推奨します。)

5

⇒ (B)「サーバートークンを登録しました。」と表示されます。(C)「サーバートークン」の有効期限を確認してください。

✎ (D) の詳細については、以下のマニュアルの該当セクションを参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定-iOS」-「ADE」-「ADE トークン登録」-「画面（登録後）」

(B) サーバートークンを登録しました。

(C) サーバートークン
2019/09/26 14:26:49まで有効

アカウント情報

サーバー名

組織名

メールアドレス

電話番号

住所

備考

(D) 編集 トークンを削除 ADE機器再認証 ASM情報再認証

2.2 ADE を利用して端末を管理する

ASM に登録した端末は、ADE を利用して管理します。

2.2.1 ASM で端末をサーバーに割り当てる

以下の手順で、ADE を利用して管理する端末を ASM で特定のサーバーに割り当て、管理サイトに端末の情報を反映させます。

【1】 ASM のサイト (<https://school.apple.com>) にアクセスします。

☑ 対応ブラウザは、Microsoft Edge、Google Chrome 35 以上、Safari 9 以上です。

【2】 管理者用の「Apple ID」を入力します。

【3】 ➡ をクリックします。

⇒ 「パスワード」入力欄が表示されます。

【4】「パスワード」を入力します。

【5】 ➡ をクリックします。

⇒ 本人確認用の「確認コード」を受け取る電話番号を選択する画面が表示されます。

【6】「確認コード」を受け取る電話番号を選択します。

⇒ 選択した電話番号の端末に「確認コード」がSMSで送信されます。

☑ 複数の電話番号が登録されている場合は、選択肢が表示されます。

【7】受信したメッセージを確認し、「確認コード」を入力します。

⇒ 6 桁の入力が終わると、自動的に次の画面に進みます。

❗ 「確認コード」に誤りがあるとログインできず、手順【5】の「Apple ID」入力画面に戻ります。



The image shows the Apple School 2FA authentication screen. At the top, the Apple logo is followed by the word "School" and "2ファクタ認証" (2-Factor Authentication). Below this is a red box containing a red "7" and six empty input fields for the verification code. Underneath the input fields, there is a message in Japanese: "確認コードを含むテキストメッセージを.....に送信しました。続けるにはコードを入力してください。" (A text message containing the verification code was sent to..... Please enter the code to continue.). At the bottom, there are two links: "他の電話番号を使用" (Use a different phone number) and "その他のオプション" (Other options).

❗ 「確認コード」の入力後に以下の画面が表示される場合があります。(A) [信頼する] をクリックすると、次回以降に同端末の同ブラウザからサインインするとき、「確認コード」の入力が不要になります。



The image shows a screen titled "このブラウザを信頼しますか?" (Do you trust this browser?). Below the title, there is a message: "このブラウザを信頼できるものとして選択すると、次回サインイン時に確認コードの入力が不要になります。" (If you select this browser as trustworthy, you will not need to enter a verification code the next time you sign in.). At the bottom, there are three buttons: "後で行う" (Do it later), "信頼しない" (Don't trust), and "信頼する" (Trust). The "信頼する" button is highlighted with a red box and a red "A" in the top right corner.

【8】「デバイス」をクリックします。

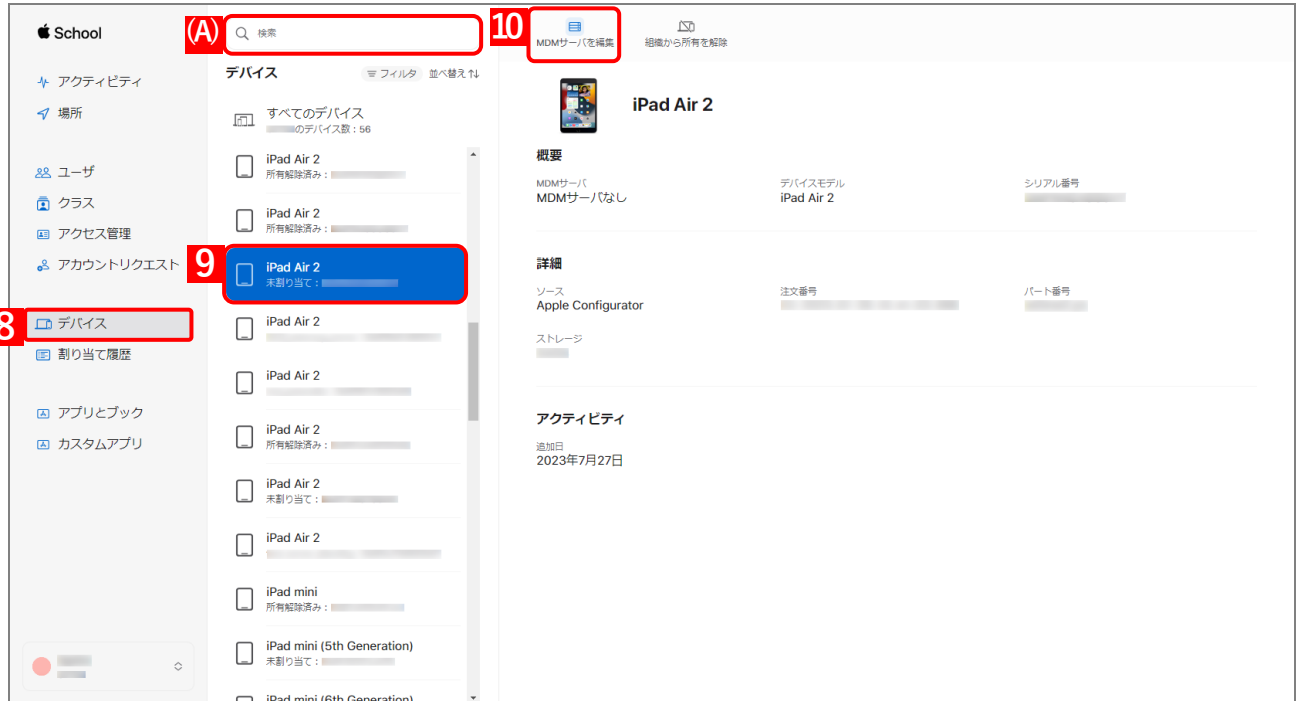
【9】一覧から対象端末をクリックします。

📌 対象端末が一覧に表示されていない場合は、Apple にお問い合わせください。

🔍 (A) を利用して、一覧から端末を検索できます。

【10】「MDM サーバを編集」をクリックします。

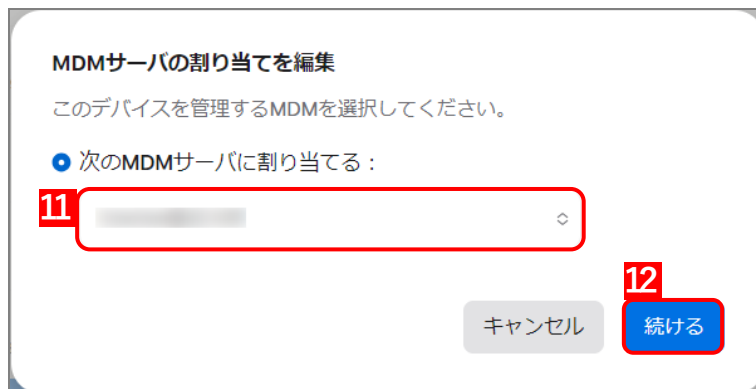
⇒ 「MDM サーバの割り当てを編集」画面が表示されます。



【11】「ADE トークンをダウンロードする」の手順【14】で入力したサーバー名を選択します。

【12】「続ける」をクリックします。

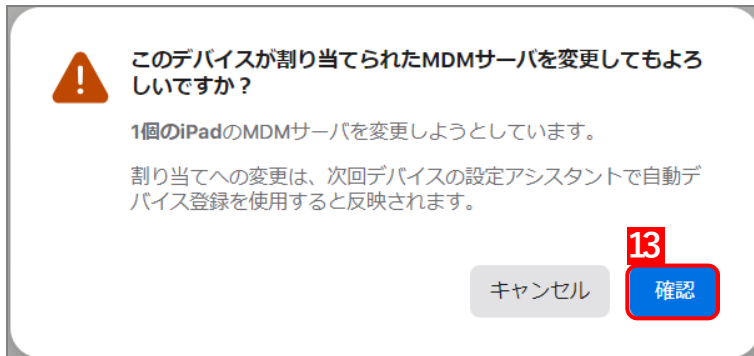
⇒ 確認画面が表示されます。



【13】 「確認」 をクリックします。

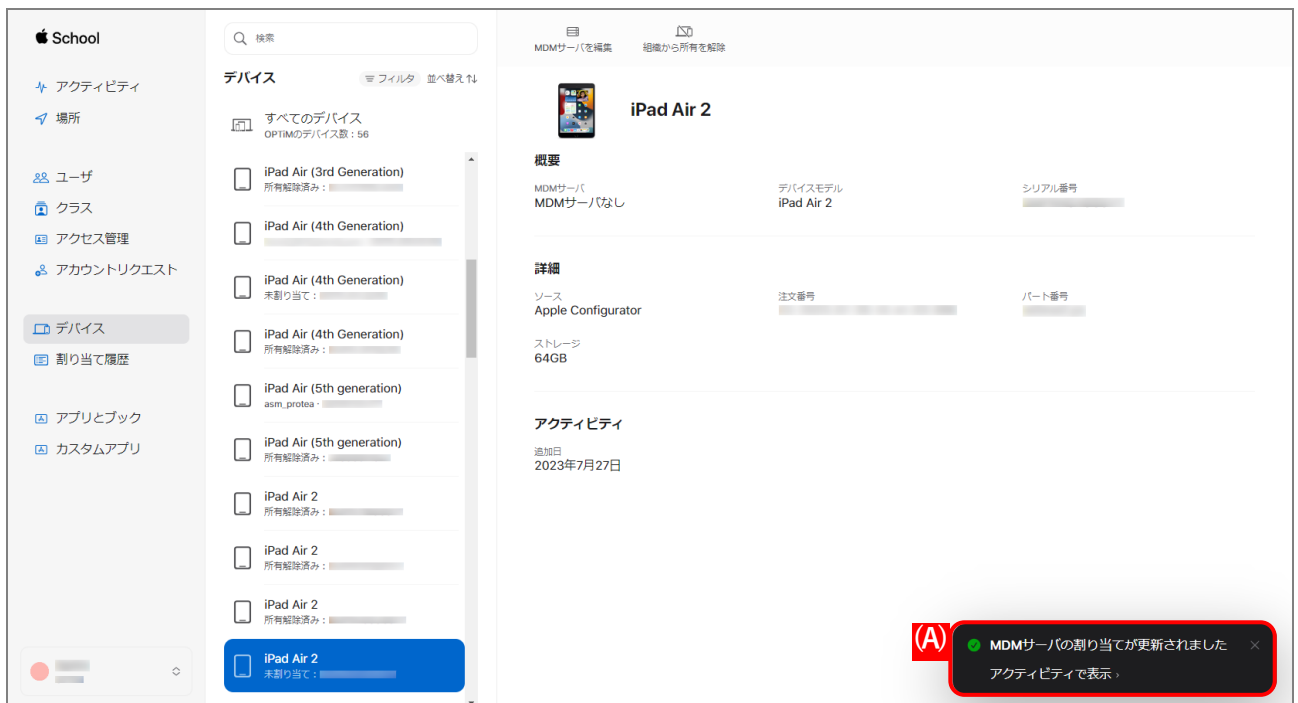
⇒ 対象端末の割り当てが開始されます。しばらくお待ちください。

❏ 本操作に失敗する場合は、対象端末で ADE を利用できない状態になっている可能性があります。詳細については、Apple または端末の購入元にお問い合わせください。



⇒ 割り当ての更新が完了すると、右下に (A) メッセージが表示されます。

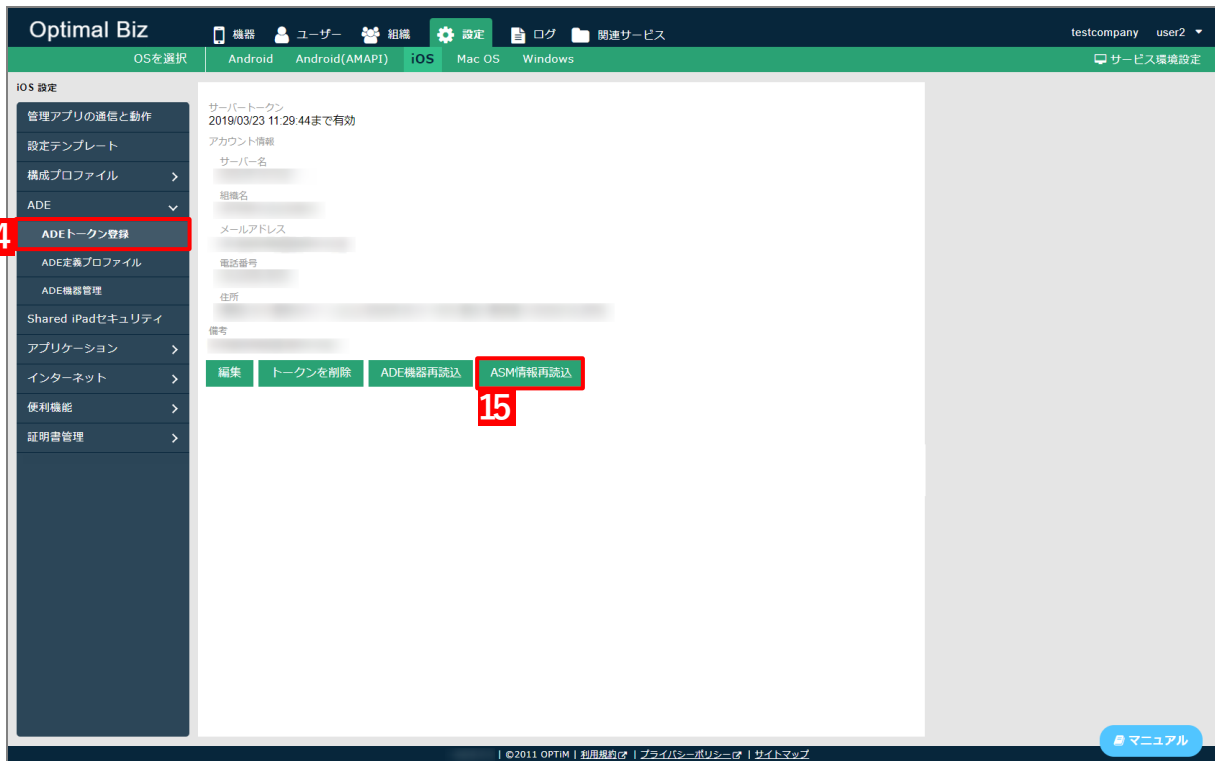
割り当てたい端末が複数ある場合は、手順【8】～【13】を繰り返してください。



【14】 管理サイトの [設定] → [iOS] → [ADE] → [ADE トークン登録] をクリックします。

【15】 [ASM 情報再読込] をクリックします。

⇒ 「ASM で端末をサーバーに割り当てる」で割り当てた端末の情報が管理サイトに反映され、機器画面に認証待ち機器として表示されます。



2.2.2 ユーザー／クラスを登録する

ASM のサイトでユーザー（教師、生徒）やクラス（授業）の情報を登録します。

- ✖ クラスが1つも登録されていない場合は、端末に教育構成プロファイルをインストールできないことがあります。その場合は、クラスを登録してから、教育構成プロファイルをインストールしてください。

【1】ASM のサイト（<https://school.apple.com>）にアクセスします。

✍ 「ASM で端末をサーバーに割り当てる」の手順【1】～【7】を行ってください。

【2】ASM にユーザーおよびクラスの情報を登録します。

✍ 登録方法は、以下の「Apple School Manager ユーザガイド」を参照してください。

🔗 <https://help.apple.com/schoolmanager/>

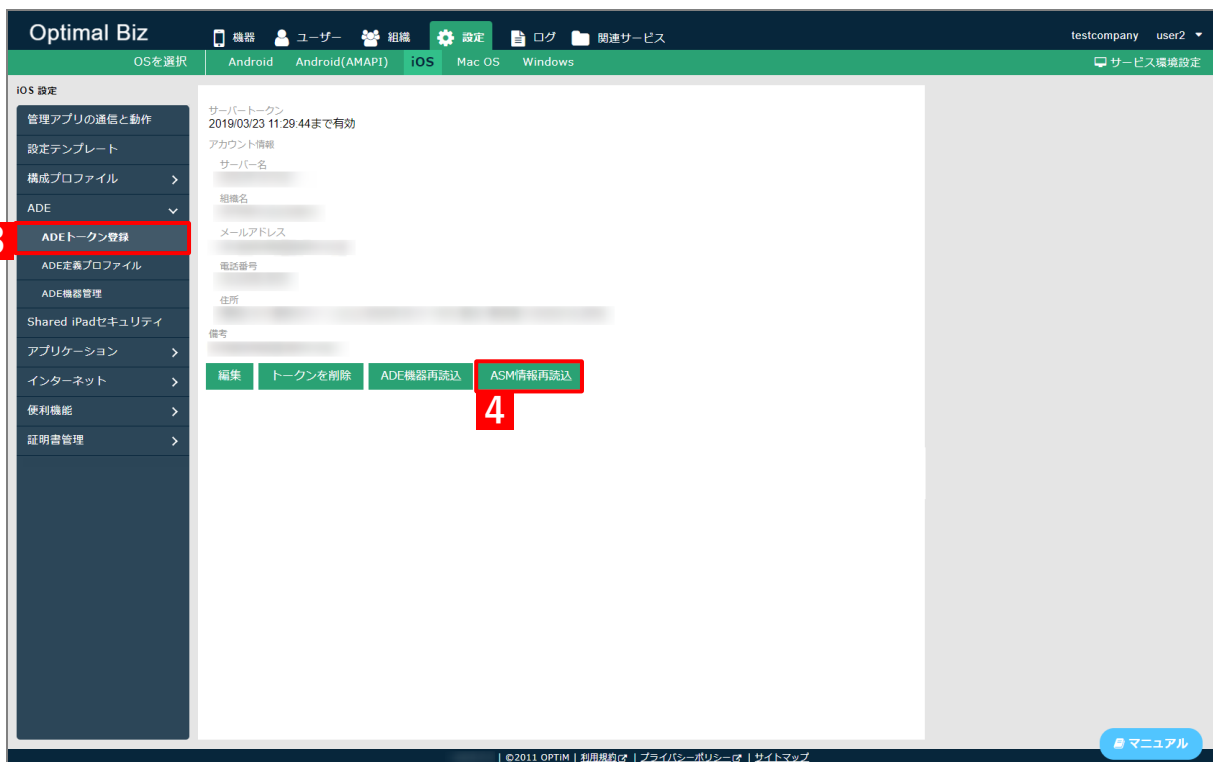
【3】管理サイトの「設定」→「iOS」→「ADE」→「ADE トークン登録」をクリックします。

【4】「ASM 情報再読込」をクリックします。

⇒ 【2】で登録したユーザーの情報が管理サイトに反映され、ユーザー画面に「一般ユーザー」として表示されます。

✍ ASM のユーザー情報に、すでに管理サイトに登録されている同一のユーザー名が含まれている場合は、ASM のユーザー名の末尾に 8 桁の値が自動的に追加され、異なるユーザーとして保存されます。

✍ ASM で登録したユーザーは、ユーザー画面に表示されるアイコンが本製品で作成したユーザーとは異なります。また、ユーザー画面には Managed Apple ID も表示されます。



2.2.3 端末をライセンス認証する

以下を参照して、端末に ADE プロファイルを設定し、ライセンスを認証します。

-  『iOS キットニングマニュアル』の「ADE を利用してライセンス認証を行う」－「ADE を利用するための準備をする」－「ADE 定義プロファイルを作成する」、「ADE 定義プロファイルを適用する」
-  『iOS キットニングマニュアル』の「ADE を利用してライセンス認証を行う」－「端末のアクティベーションを行う」

 共有 iPad として利用する場合は、ADE 定義プロファイルの「Shared iPad に設定する」を設定してください。

参考

● 端末の共有 iPad の設定を解除する場合は、管理サイトから端末をリモートワイプしてください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「一覧」－「機器の操作」－「(操作－iOS) リモートワイプ」

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「全機器一括設定」－「[その他 ▼] タブ/iOS リモート操作」

 管理サイトと通信ができないため、以下の場合はリモートワイプができません。

- ・ 管理サイトから対象の端末を削除した場合
- ・ 管理サイトから端末にインストールしたプロキシ設定が間違っている場合
- ・ 端末の初期設定時に MDM 構成プロファイルをインストールしなかった場合

● 端末から共有 iPad の設定を解除することはできません。

2.2.4 「クラスルーム」を配信する

教師が生徒の端末を制御するためのアプリ「クラスルーム」を教師の端末に配信します。

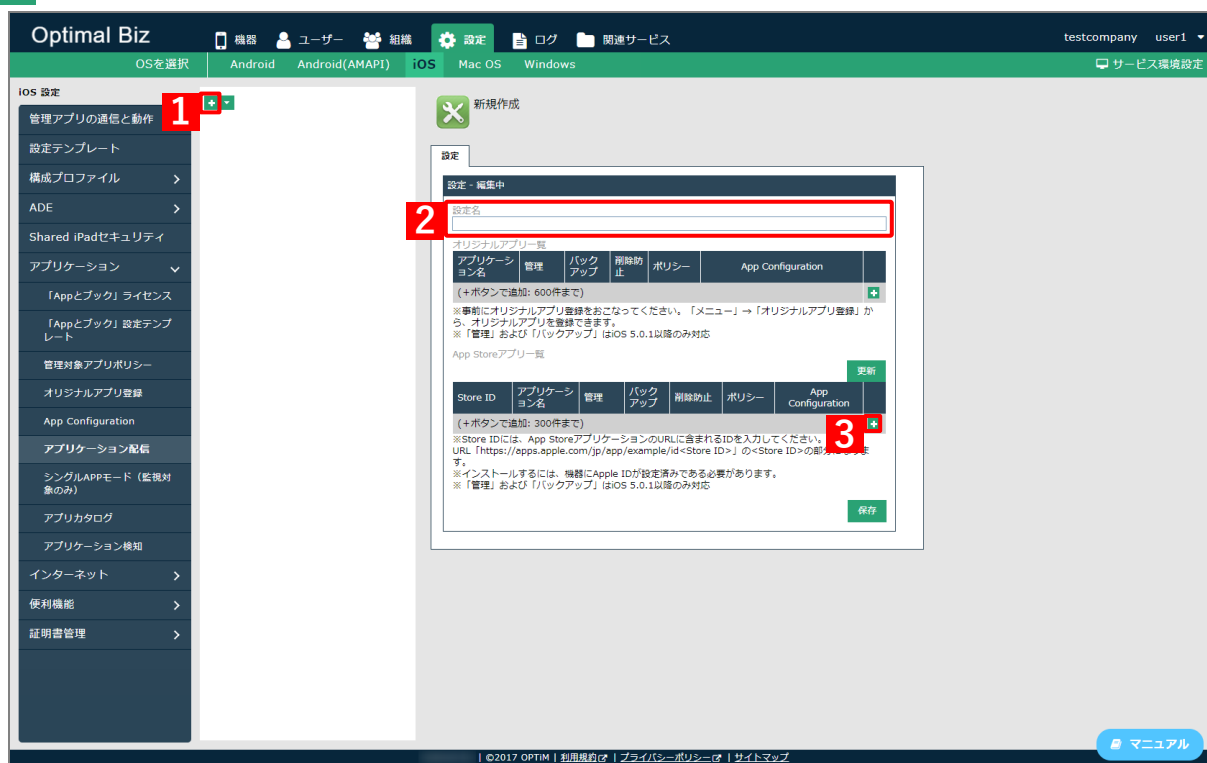
✂ 「クラスルーム」を利用するには、教師と生徒の端末に以下を設定してください。

- 同じ Wi-Fi のアクセスポイントに接続する
- Bluetooth を有効にする

✂ 「クラスルーム」の使用方法については、以下を参照してください。

🔗 <https://support.apple.com/ja-jp/guide/classroom/welcome/ipados>

- [1]** [設定] → [iOS] → [アプリケーション] → [アプリケーション配信] → **+** をクリックします。
- [2]** 「設定名」に任意の名前を入力します。
- [3]** **+** をクリックします。



【4】「Store ID」に「クラスルーム」の Store ID を入力します。

- 🔗 Store ID は、App Store で「クラスルーム」を検索のうえ確認してください。「クラスルーム」のアプリページにアクセスすると、URL 末尾（「https://apps.apple.com/jp/app/アプリ名/id*****」の「*****」にあたる部分）に Store ID が表示されます。

（このとき、アプリページでアプリ名の下に「Apple」と表示されていることを確認してください。）Store ID の詳細については、以下を参照してください。

🔍『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定-iOS」-「アプリケーション」-「アプリケーション検知」-「アプリケーション ID の調べ方」

- 🔗 (A) その他の設定項目の詳細については、以下を参照してください。

🔍『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定-iOS」-「アプリケーション」-「アプリケーション配信」

【5】「保存」をクリックします。

新規作成

設定

設定 - 編集

設定名

オリジナルアプリ一覧

アプリケーション名	管理	バックアップ	削除防止	ポリシー	App Configuration
(+ ボタンで追加: 600件まで)					

※事前にオリジナルアプリ登録をおこなってください。「メニュー」→「オリジナルアプリ登録」から、オリジナルアプリを登録できます。
※「管理」および「バックアップ」はiOS 5.0.1以降のみ対応

App Storeアプリ一覧

更新

Store ID	アプリケーション名	管理	バックアップ	削除防止	ポリシー	App Configuration
4	(A) ---	☐ 有効	☐ 許可	☐ 有効	管理対象アプリポリシーがありません。	新規追加 App Configurationがありません。

(+ ボタンで追加: 300件まで)

※Store IDには、App StoreアプリケーションのURLに含まれるIDを入力してください。
URL「https://apps.apple.com/jp/app/example/id<Store ID>」の<Store ID>の部分になります。
※インストールするには、機器にApple IDが設定済みである必要があります。
※「管理」および「バックアップ」はiOS 5.0.1以降のみ対応

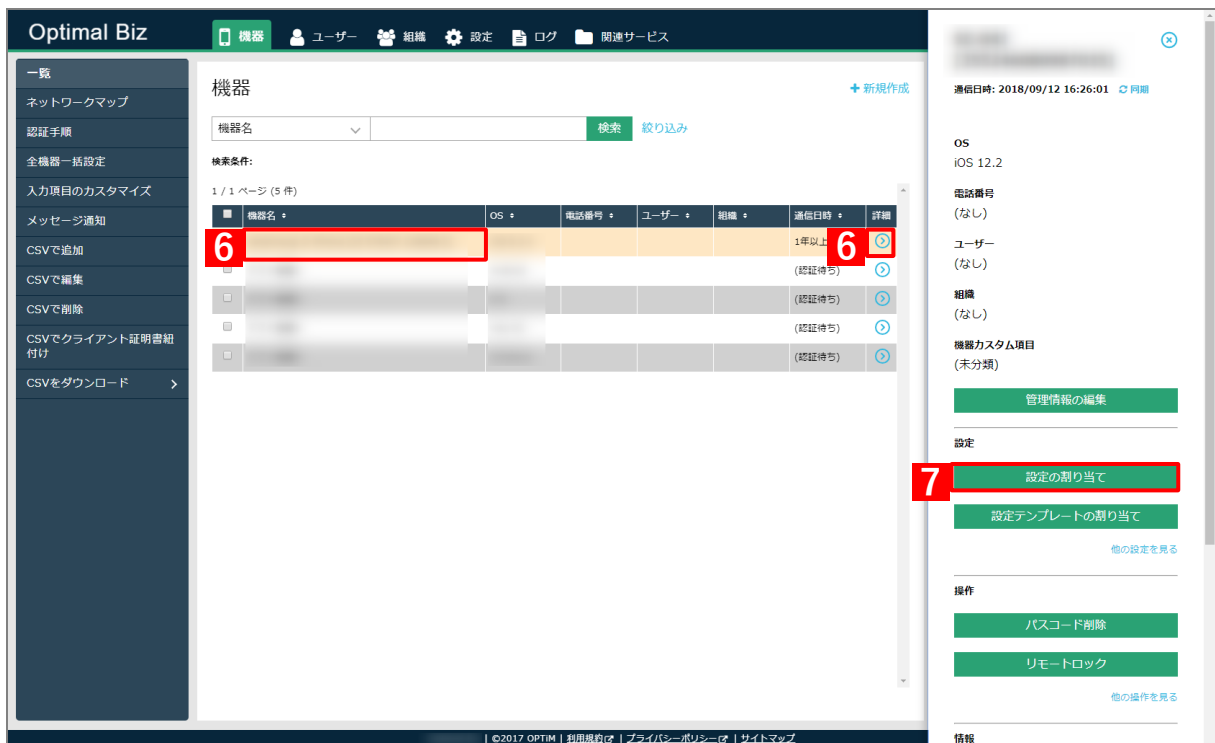
5 保存

⇒ (B) 「クラスルーム」のアプリケーション配信設定が作成されます。



【6】 「機器」 → 「一覧」 → 対象機器の「機器名」または「詳細」の ⓘ をクリックします。

【7】 「設定」の「設定の割り当て」をクリックします。



- 【8】** 「アプリケーション配信」の「編集」をクリックします。

通信日時: 2018/09/12 16:26:01 [同期](#)

構成プロファイル
(所属組織に従う:設定なし)

[編集](#)

ローミング設定
(所属組織に従う:設定なし)

[編集](#)

アプリケーション配信
(所属組織に従う:設定なし)

8 [編集](#)

- 【9】** プルダウンメニューから、作成したアプリケーション配信設定を指定します。

- 【10】** 「保存」をクリックします。

通信日時: 2018/09/12 16:26:01 [同期](#)

構成プロファイル
(所属組織に従う:設定なし)

[編集](#)

ローミング設定
(所属組織に従う:設定なし)

[編集](#)

アプリケーション配信

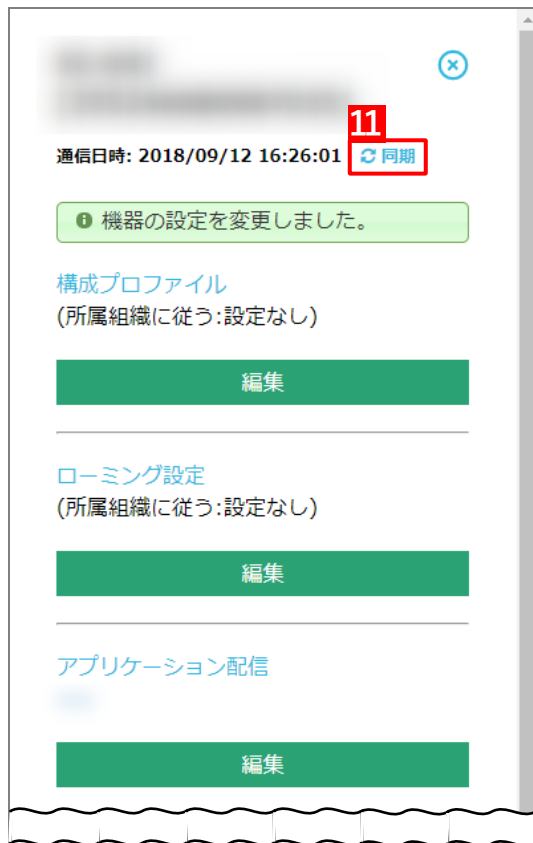
9 [プルダウンメニュー](#)

10 [保存](#)

[取消](#)

【11】 「同期」 をクリックします。

⇒ 端末に「クラスルーム」が配信されます。



The screenshot shows a mobile device management interface. At the top, there is a blurred header with a close button (X). Below it, the text '通信日時: 2018/09/12 16:26:01' is displayed next to a red box containing the number '11' and a blue circular icon with a refresh symbol, followed by the text '同期' (Sync). Below this, a green notification bar states '機器の設定を変更しました。' (Device settings have been changed). The interface then lists three sections: '構成プロファイル' (Configuration Profiles) with '(所属組織に従う: 設定なし)' (Follow organization: No settings), 'ローミング設定' (Roaming Settings) with '(所属組織に従う: 設定なし)' (Follow organization: No settings), and 'アプリケーション配信' (Application Distribution). Each section has a green '編集' (Edit) button below it.

2.3 ADE トークンの年次更新

ADE トークンの有効期限は 1 年間です。有効期限を確認して、有効期限内に ADE トークンを更新してください。有効期限が切れると、ADE が利用できなくなり、端末の自動更新やユーザーやクラスの情報取得ができなくなります。

🔗 有効期限内に My Apple ID (<https://appleid.apple.com/>) で、ASM のパスワードを変更した場合は、ADE トークンの更新が必要です。

2.3.1 ADE トークンの有効期限を確認する

ADE トークンの有効期限は、管理サイトのダッシュボードと ADE トークン登録画面で確認できます。

ダッシュボード

ADE トークン登録の (A) 有効期限を確認してください。有効期限が 60 日以下になると、(B) 残日数が赤字で表示されます。

📝 ダッシュボードの詳細は、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「ダッシュボード」－「ダッシュボードの画面構成」

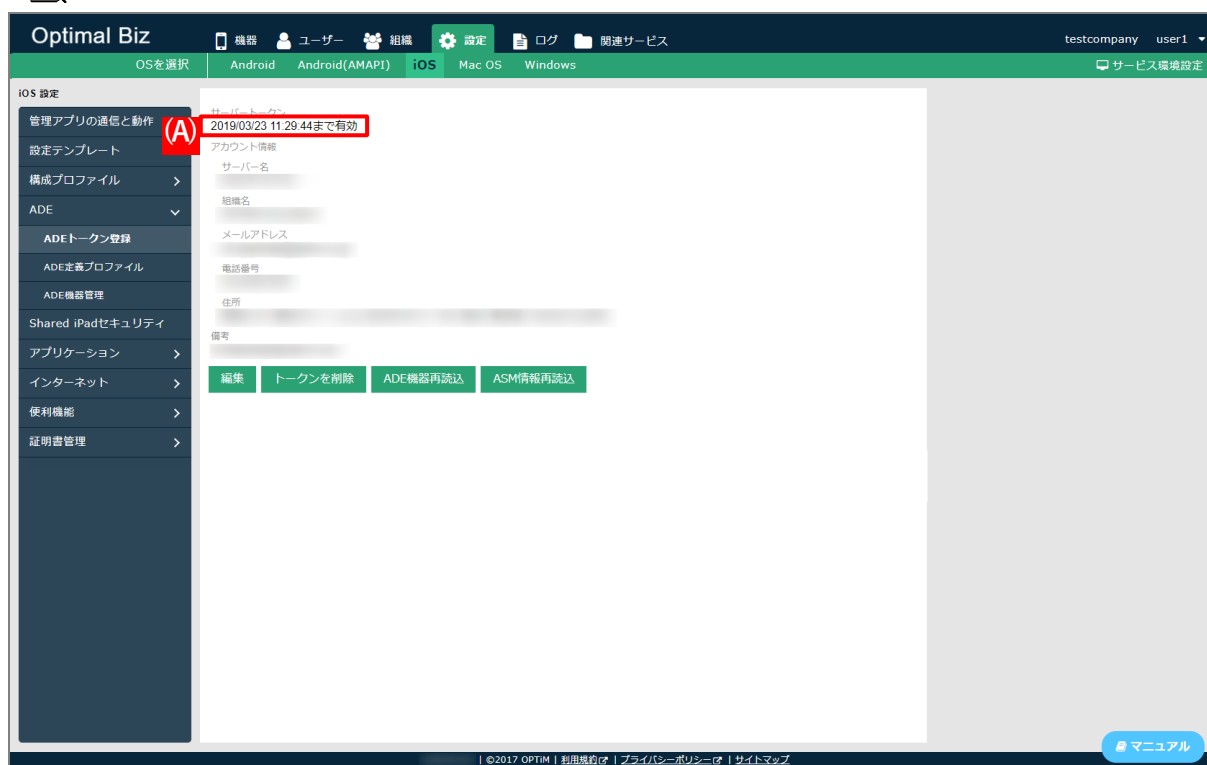


ADE トークン登録画面

サーバートークンで (A) 有効期限を確認してください。有効期限が 60 日以下になると、赤字で表示されます。

 ADE トークン登録画面の詳細は、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - iOS」 - 「ADE」 - 「ADE トークン登録」



Optimal Biz

OSを選択 | Android | Android(AMAPI) | **iOS** | Mac OS | Windows

testcompany user1

サービス環境設定

iOS 設定

管理アプリの通信と動作 (A) 2019/03/23 11:29:44まで有効

設定テンプレート

構成プロファイル

ADE

ADE トークン登録

ADE 定義プロファイル

ADE 機器管理

Shared iPad セキュリティ

アプリケーション

インターネット

便利機能

証明書管理

アカウント情報

サーバー名

組織名

メールアドレス

電話番号

住所

備考

編集 トークンを削除 ADE 機器再読込 ASM 情報再読込

© 2017 OPTIM | 利用規約 | プライバシーポリシー | サイトマップ

マニュアル

2.3.2 ADE トークンをダウンロードする

以下の手順で、ASM から ADE トークンをダウンロードします。

【1】ASM のサイト（<https://school.apple.com>）にアクセスします。

☑ 対応ブラウザは、Microsoft Edge、Google Chrome35 以上、Safari9 以上です。

【2】管理者用の「Apple ID」を入力します。

【3】➡ をクリックします。

⇒ 「パスワード」入力欄が表示されます。

【4】「パスワード」を入力します。

【5】➡ をクリックします。

⇒ 本人確認用の「確認コード」を受け取る電話番号を選択する画面が表示されます。

【6】 「確認コード」を受け取る電話番号を選択します。

⇒ 選択した電話番号の端末に「確認コード」が SMS で送信されます。

✎ 複数の電話番号が登録されている場合は、選択肢が表示されます。

【7】 受信したメッセージを確認し、「確認コード」を入力します。

⇒ 6 桁の入力が終わると、自動的に次の画面に進みます。

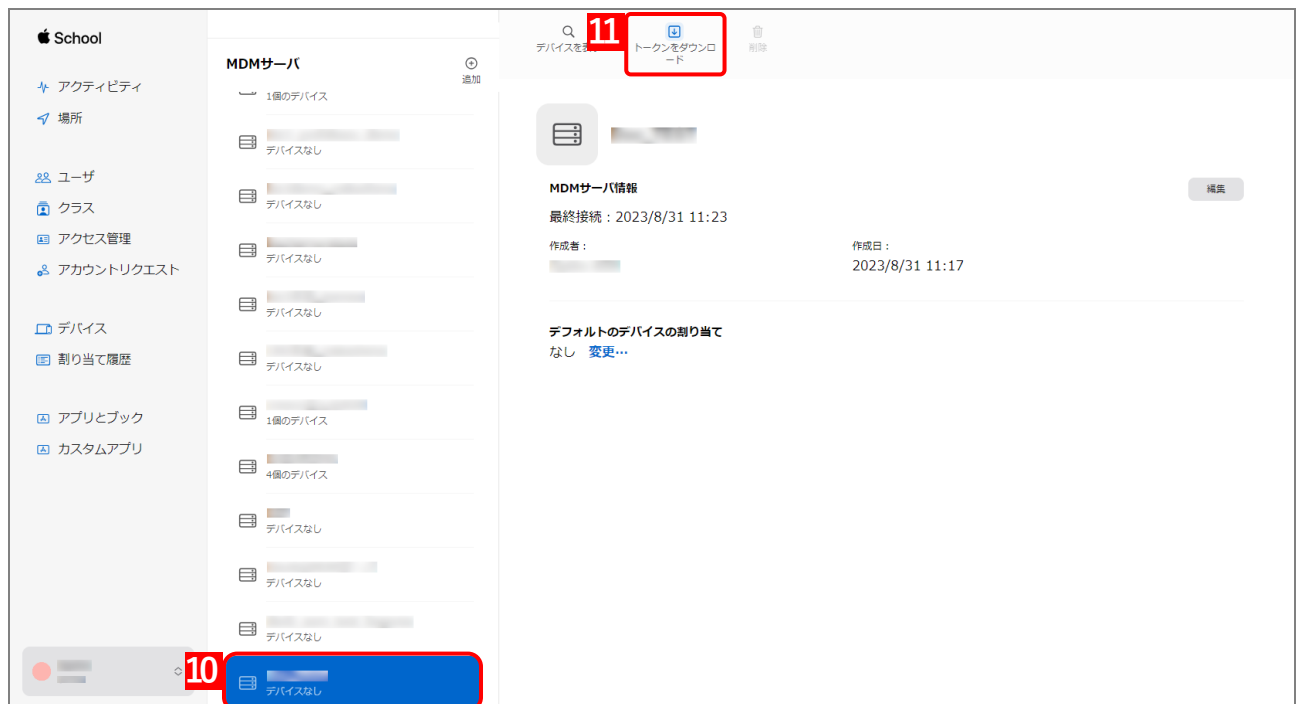
✎ 「確認コード」に誤りがあるとログインできず、手順【5】の「Apple ID」入力画面に戻ります。

- ❏ 「確認コード」の入力後に以下の画面が表示される場合があります。(A) [信頼する] をクリックすると、次回以降に同端末の同ブラウザからサインインするとき、「確認コード」の入力が不要になります。



- 【8】 [アカウント] をクリックします。

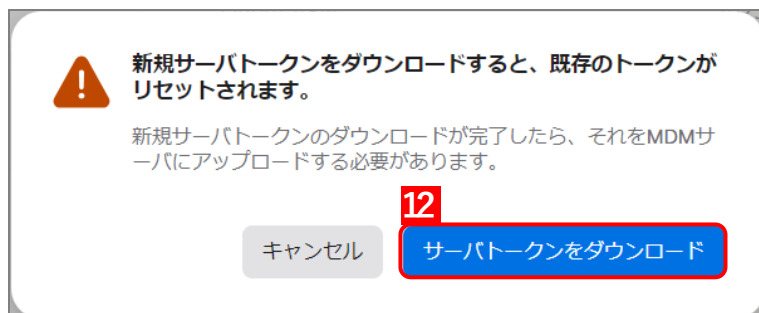


【9】 「環境設定」 をクリックします。**【10】 「MDM サーバ」 の一覧から、該当の MDM サーバをクリックします。****【11】 「トークンをダウンロード」 をクリックします。**

【12】 [サーバトークンをダウンロード] をクリックします。

⇒ ADE トークンのダウンロードが開始されます。任意の場所を指定して、ファイルを保存してください。

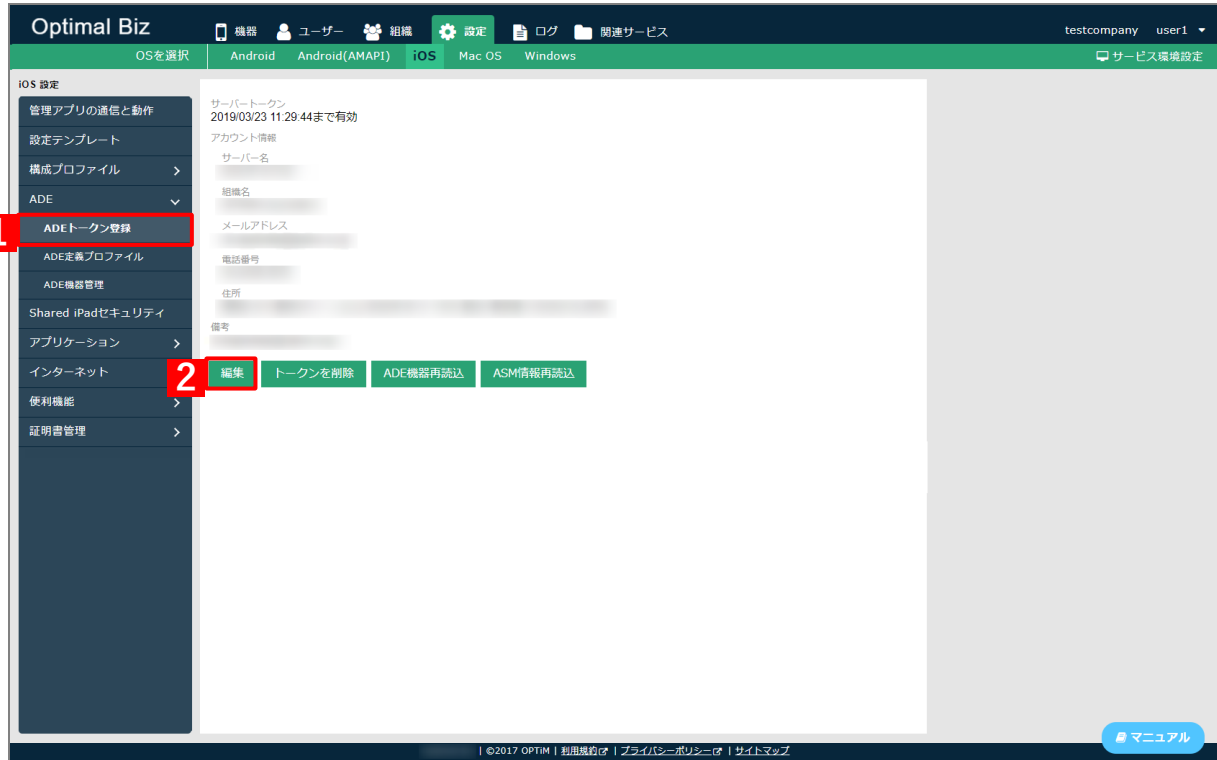
☑ ダウンロードした ADE トークンは、速やかに管理サイトにアップロードしてください。アップロードせずに長時間経過すると、管理サイトとの通信ができなくなることがあります。



2.3.3 ADE トークンをアップロードする

以下の手順で、ダウンロードした ADE トークンを管理サイトにアップロードします。

- [1]** [設定] → [iOS] → [ADE] → [ADE トークン登録] をクリックします。
- [2]** [編集] をクリックします。



- [3]** [ファイルを選択] をクリックし、「ADE トークンをダウンロードする」でダウンロードした ADE トークンを指定します。
⇒ (A) 選択したファイル名が [ファイルを選択] の右側に表示されます。
- [4]** 「備考」を入力します。
☒ ASM サインイン時の Apple ID、および ADE トークンの取得日の入力をお勧めします。
- [5]** [保存] をクリックします。

1. サーバー公開鍵証明書(PEM)ファイルの生成とダウンロード

サーバー公開鍵証明書(PEM)ファイルをダウンロードしてください。

[ダウンロード](#)

2. サーバートークンの取得

以下のリンクよりMDMサーバー登録用のサーバートークンを取得してください。サーバートークンはサーバー公開鍵証明書(PEM)をアップロードすることで取得できます。

Apple Business Manager: <https://business.apple.com/>

Apple School Manager: <https://school.apple.com/>

※サーバートークンを定期的更新する必要があります。有効期限が切れた場合、本製品はご利用いただけなくなります。

3. サーバートークンファイルの登録

2.より作成したサーバートークンファイルを指定してください。

4 [ファイルを選択](#) .p7m

4 備考 (※サーバートークン発行の際に使用されたApple IDを以下に記載することを推奨します。)

5

⇒ (A)「設定を変更しました。」と表示されます。(B)「サーバートークン」に表示される有効期限が更新されていることを確認してください。

(A) 設定を変更しました。

(B) サーバートークン
2020/08/14 13:19:03まで有効

アカウント情報

サーバー名

組織名

メールアドレス

電話番号

住所

備考

編集 トークンを削除 ADE機器再読込 ASM情報再読込

3 App とブック

3.1 「App とブック」を利用するには

「App とブック」を利用するには、ASM から「App とブック」場所のトークンをダウンロードして、管理サイトにアップロードする必要があります。

「App とブック」場所のトークンとは、「App とブック」アカウントを管理サイトに紐づけるためのトークンです。

3.1.1 ASM でアプリを購入する

アプリケーション配信でインストールするアプリを ASM のサイトから購入し、「App とブック」場所のトークンをダウンロードします。

【1】 ASM サイト (<https://school.apple.com>) にアクセスします。

【2】 管理者用の「Apple ID」を入力します。

【3】 ➡ をクリックします。

⇒ 「パスワード」入力欄が表示されます。

【4】「パスワード」を入力します。

【5】 ➡ をクリックします。

⇒ 本人確認用の「確認コード」を受け取る電話番号を選択する画面が表示されます。



The screenshot shows the Apple School login interface. At the top is the Apple logo followed by the word "School". Below this is the text "所属する組織のデバイスやApp、アカウントを管理します。" (Manage devices, apps, and accounts for the organization you belong to). There is a password input field with a red box around it labeled "4" on the left and "5" on the right with a right arrow icon. Below the password field is a checkbox labeled "Apple IDをブラウザに保存" (Save Apple ID to browser). At the bottom, there are two links: "管理対象Apple IDまたはパスワードをお忘れですか？" (Forgot your managed Apple ID or password?) and "まだApple Schoolになっていませんか？今すぐ登録する。" (Not yet an Apple School? Register now).

【6】「確認コード」を受け取る電話番号を選択します。

⇒ 選択した電話番号の端末に「確認コード」がSMSで送信されます。

☑ 複数の電話番号が登録されている場合は、選択肢が表示されます。



The screenshot shows the Apple School verification interface. At the top is the Apple logo followed by the word "School". Below this is the text "本人確認" (Verify yourself). There is a list of phone numbers with red boxes around them labeled "6" on the left. Each entry shows a masked phone number, "SMS", and a right arrow icon. Below the list is the text "確認コードの送信先に使用する電話番号を選択してください。" (Select a phone number to use for sending the verification code). At the bottom, there is a link: "これらの電話番号にアクセスできませんか？" (Can't access these phone numbers?).

【7】受信したメッセージを確認し、「確認コード」を入力します。

⇒ 6 桁の入力が終わると、自動的に次の画面に進みます。

❏ 「確認コード」に誤りがあるとログインできず、手順【2】の「Apple ID」入力画面に戻ります。



Apple School
2ファクタ認証

7

確認コードを含むテキストメッセージを.....に送信しました。続けるにはコードを入力してください。

[他の電話番号を使用](#) | [その他のオプション](#)

❏ 「確認コード」の入力後に以下の画面が表示される場合があります。(A) [信頼する] をクリックすると、次回以降に同端末の同ブラウザからサインインするとき、「確認コード」の入力が不要になります。



このブラウザを信頼しますか？

このブラウザを信頼できるものとして選択すると、次回サインイン時に確認コードの入力が不要になります。

[後で行う](#) [信頼しない](#) (A) [信頼する](#)

【8】 [場所] をクリックします。

【9】  をクリックします。



【10】 「新規の場所を追加」画面の各項目を入力します。

【11】 [保存] をクリックします。

⇒場所が追加されます。



【12】 [アプリとブック] をクリックします。

【13】 購入するアプリをクリックします。

【14】 「割り当て先」のプルダウンメニューから、手順【11】で追加した場所を指定します。

【15】 「数量」に購入するライセンス数を入力します。

【16】 [入手] をクリックします。

⇒ 購入が完了すると、「ライセンスを管理する」に (A) 購入内容が表示されます。

☑ 購入が完了するまで、しばらく時間がかかることがあります。

The screenshot shows the Apple School Manager interface. On the left, the sidebar has a menu with items: アクティビティ, 場所, ユーザ, クラス, アクセス管理, アカウントリクエスト, デバイス, 割り当て履歴, アプリとブック (highlighted with a red box and label 12), and カスタムアプリ. The main content area is divided into two panels. The left panel shows a list of apps, with one app (highlighted with a red box and label 13) selected. The right panel shows the purchase details for the selected app. It includes a 'ライセンスを購入する' (Purchase License) section with a '割り当て先' (Assign to) dropdown menu (highlighted with a red box and label 14), a '数量' (Quantity) input field (highlighted with a red box and label 15), and a '入手' (Get) button (highlighted with a red box and label 16). Below this is a 'ライセンスを管理する' (Manage License) section with a table showing the license status. The table has columns for 'ロケーション' (Location), '使用中' (In Use), and '利用可能' (Available). A row is highlighted with a red box and label (A), showing a license assigned to a location, with 0 in the '使用中' column and 1 in the '利用可能' column. The total count at the bottom shows 0 in '使用中' and 1 in '利用可能'.

【17】 「アカウント」をクリックします。

The screenshot shows the Apple School Manager interface. On the left, the sidebar has a menu with items: アクティビティ, 場所, ユーザ (highlighted with a red box and label 17), クラス, アクセス管理, アカウントリクエスト, デバイス, 割り当て履歴, アプリとブック, and カスタムアプリ. The main content area shows the 'ユーザ' (Users) section. It displays a list of users, including students and teachers, with a '新規' (New) button next to each. A message at the bottom right states 'アカウントが選択されていません' (No account is selected).

【18】 「環境設定」 をクリックします。



【19】 「お支払いと請求」 をクリックします。

【20】 「コンテンツトークン」 から該当のトークンの「ダウンロード」 をクリックします。

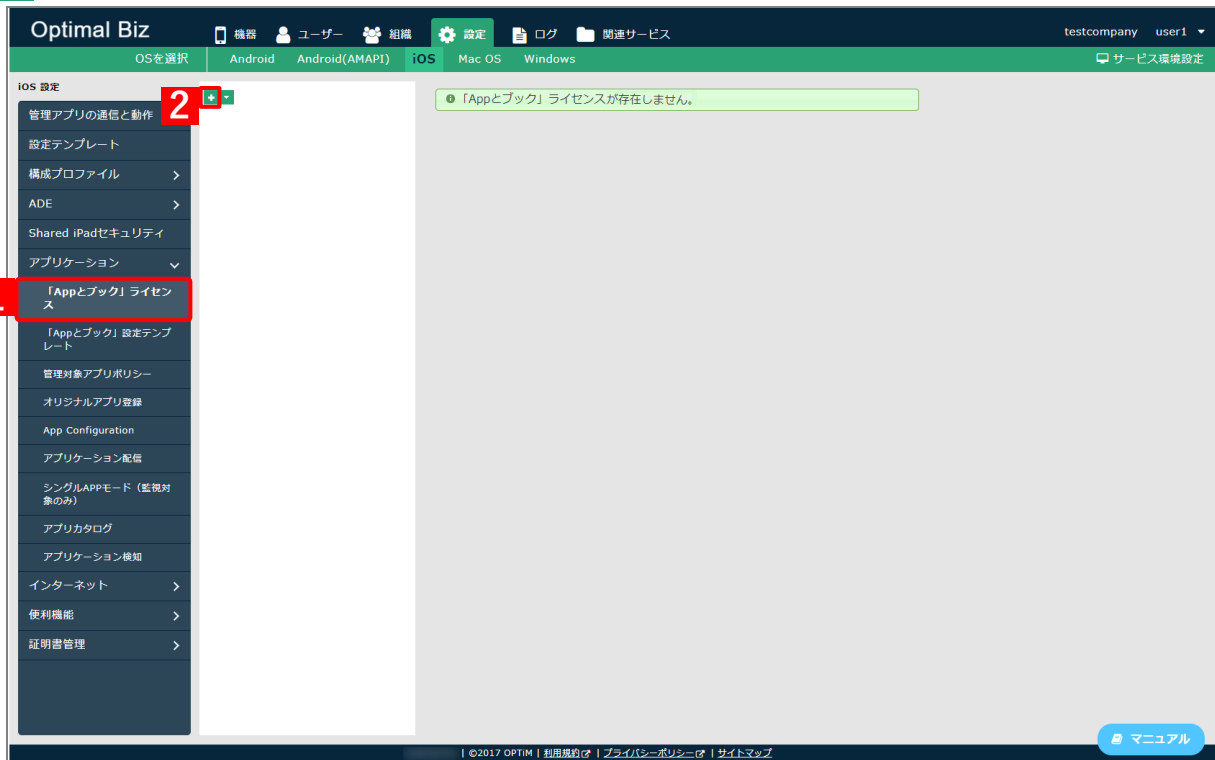
⇒ 「App とブック」 場所のトークンのダウンロードが開始されます。任意の場所を指定して、ファイルを保存してください。



3.1.2 「App とブック」 場所のトークンをアップロードする

以下の手順で、ダウンロードした「App とブック」場所のトークンを管理サイトにアップロードします。

- 【1】 [設定] → [iOS] → [アプリケーション] → [「App とブック」 ライセンス] をクリックします。
- 【2】  をクリックします。



- 【3】 「アカウント名」 に任意のアカウント名を入力します。
- 【4】 「ファイルを選択」 をクリックし、「ASM でアプリを購入する」 でダウンロードした「App とブック」 場所のトークンを指定します。
⇒ (A) 選択したファイル名が「ファイルを選択」 の右側に表示されます。
- 【5】 「備考」を入力します。
☑ABM サインイン時の Apple ID、および「App とブック」 場所のトークンの取得日の入力をお勧めします。
- 【6】 「保存」 をクリックします。

VPP 新規作成

管理

設定 - 編集

3 アカウント名

「Appとブック」 場所のトークンアップロード

4 ファイルを選択 (A)

5 備考

6 保存

⇒ (B) 「「App とブック」 ライセンスを作成しました。」 と表示されます。(C) トークン有効期限を確認してください。

(B) 「Appとブック」 ライセンスを作成しました。

(C) 有効期限 : 2019/03/25

VPP

管理 アプリケーション 書籍 操作

設定

アカウント名

トークン有効期限
有効期限 : 2019/03/25

組織名

備考

編集

3.2 アプリを配信する

「App とブック」を利用してアプリを配信する手順については、以下を参照してください。

-  『iOS アプリケーション配信 手順書』 - 「アプリをインストールする」 - 「アプリを強制インストールする」、「アプリ管理用の共通 Apple ID でアプリをインストールする」、「「App とブック」を利用してアプリカタログからアプリをインストールする」

3.3 書籍を配信する

「App とブック」を利用して書籍を配信するには、ユーザーに「App とブック」ライセンスを割り当てます。機器に割り当ててはできません。

以下の手順で、「App とブック」を利用して書籍を配信します。

3.3.1 購入した書籍を確認する

「App とブック」場所のトークンをアップロードすると、「App とブック」ライセンス画面に購入した書籍が表示されます。以下の手順で購入した書籍を確認してください。

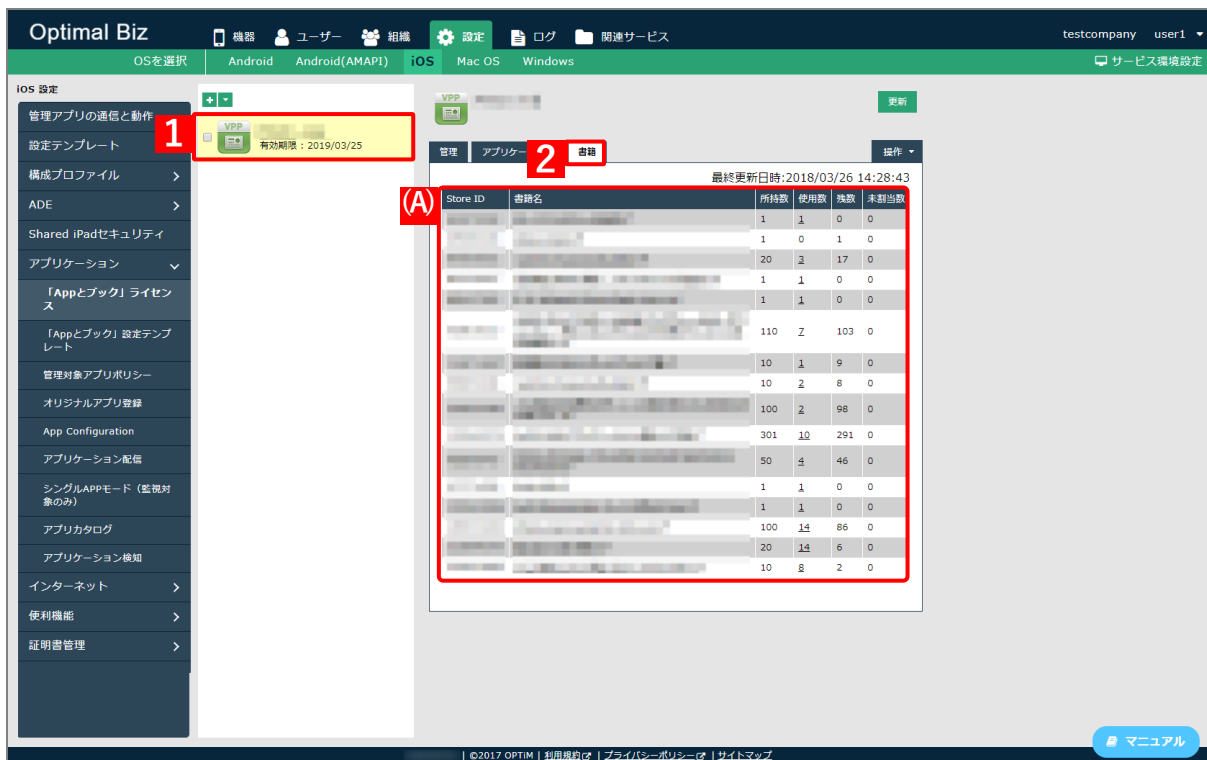
 表示されている書籍の「App とブック」ライセンスをユーザーに割り当てます。

 「「App とブック」ライセンスを仮割り当てする」50 ページ

[1] [設定] → [iOS] → [アプリケーション] → [「App とブック」ライセンス] → 一覧から対象をクリックします。

[2] [書籍] タブをクリックします。

⇒ (A) 購入した書籍一覧が表示されます。



The screenshot shows the Optimal Biz web interface. The left sidebar has a menu with 'App & Book' license selected. The main area shows a table of purchased books with columns for Store ID, Book Name, Stock, Used, Remaining, and Unassigned. A red box highlights the table, and a red circle with 'A' points to it. The top navigation bar shows '設定' (Settings) and 'iOS' selected.

Store ID	書籍名	所持数	使用数	残数	未割当数
1		1	1	0	0
1		0	0	1	0
20		1	1	17	0
1		1	1	0	0
1		1	1	0	0
110		2		103	0
10		1		9	0
10		2		8	0
100		2		98	0
301		10		291	0
50		4		46	0
1		1		0	0
1		1		0	0
100		14		86	0
20		14		6	0
10		8		2	0

3.3.2 「App とブック」 ライセンスを仮割り当てする

ユーザーに「App とブック」ライセンスを仮割り当てします。

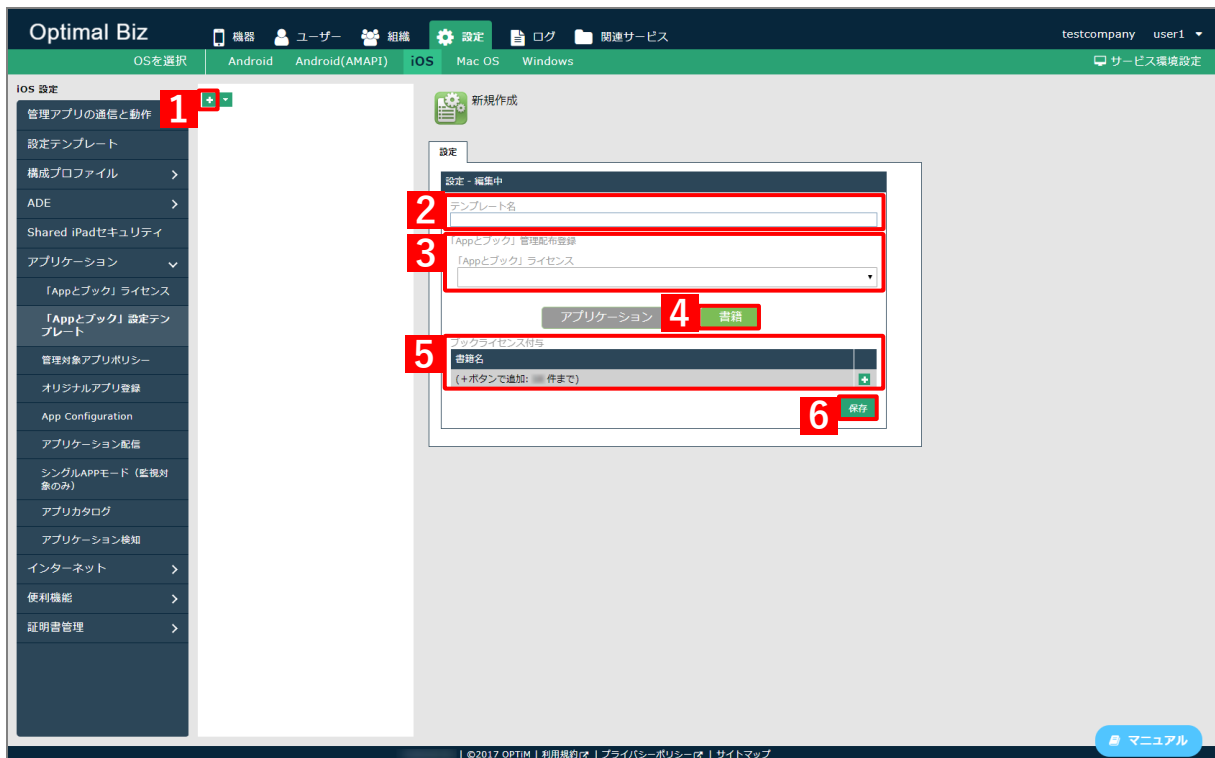
「App とブック」ライセンスの仮割り当てには、以下の 3 つの方法があります。状況に応じていずれかの方法を選択してください。

- 「App とブック」設定テンプレートを使用する場合
- 「App とブック」設定テンプレートを使用しない場合
- 組織に一括で「App とブック」ライセンスを仮割り当てする場合

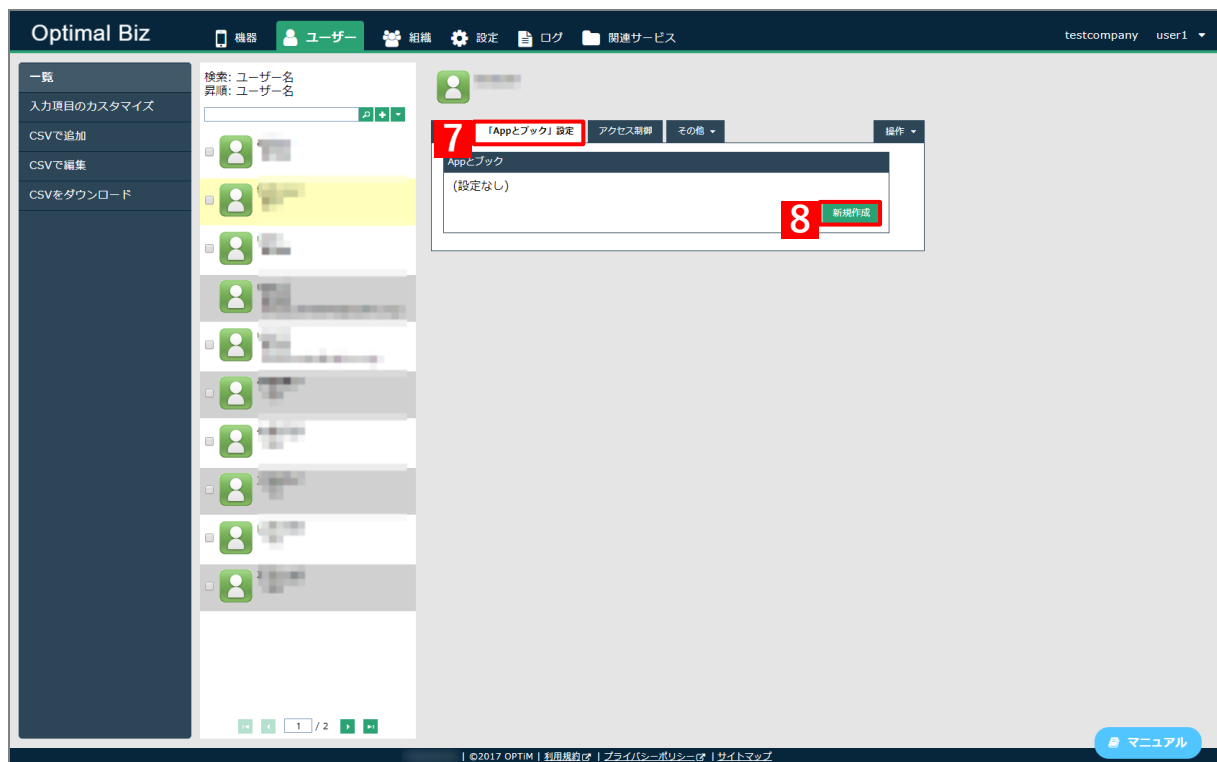
3.3.2.1 「App とブック」設定テンプレートを使用する場合

複数の書籍をまとめた「App とブック」設定テンプレートを作成し、ユーザーに「App とブック」ライセンスを割り当てます。

- [1]** [設定] → [iOS] → [アプリケーション] → [「App とブック」設定テンプレート] →  をクリックします。
-  「App とブック」設定テンプレートは、最大 50 件まで作成できます。
- [2]** 「テンプレート名」に任意の「App とブック」設定テンプレート名を入力します。
- [3]** 「「App とブック」管理配布登録」 - 「「App とブック」ライセンス」のプルダウンメニューから、アップロードした「App とブック」場所のトークンを指定します。
- [4]** [書籍] をクリックします。
- [5]** 必要に応じて「ブックライセンス付与」 - 「アプリケーション名」に、「App とブック」設定テンプレートへ含める書籍を追加します。
 -   をクリックすると、新規に追加できます。
 -   をクリックすると、追加したアプリを削除できます。
 -  書籍は、300 件まで追加できます。
- [6]** [保存] をクリックします。



- 【7】 [ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象を選択 → [[App とブック] 設定] タブをクリックします。
 【8】 [新規作成] をクリックします。



【9】「テンプレート」のプルダウンメニューから、作成した「App とブック」設定テンプレートを指定します。

☑ (A) 「書籍」が選択されていることを確認してください。

【10】「適用」をクリックします。

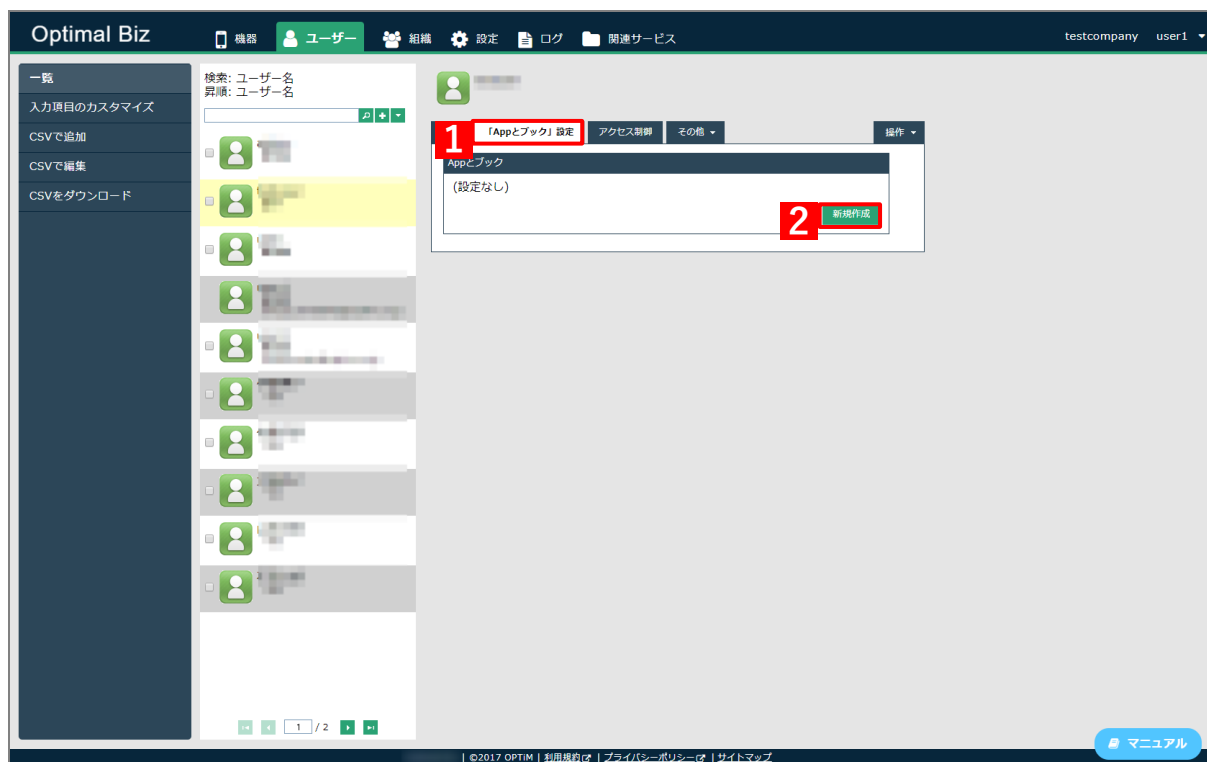
⇒ ライセンスの仮割り当てが完了しました。引き続き「「App とブック」ライセンスを本割り当てする」に進みます。

The screenshot shows the 'App and Book' settings page. The top navigation bar includes '管理' (Management), '「Appとブック」設定' (App and Book Settings), 'アクセス制御' (Access Control), and 'その他' (Others). The 'App and Book' settings section is active, showing a 'テンプレート' (Template) dropdown menu. A red box highlights the dropdown menu, and a red '9' is next to it. Below the dropdown menu is a red box highlighting the '適用' (Apply) button, with a red '10' next to it. The main content area is titled 'Appとブック - 編集' (App and Book - Edit) and contains a '「Appとブック」管理配布登録' (App and Book Management Distribution Registration) section. This section includes a '「Appとブック」ライセンス付与対象' (App and Book License Grant Target) dropdown menu, a '参加依頼' (Participation Request) section with an '自動送信' (Automatic Send) checkbox, and a 'ブックライセンス付与' (Book License Grant) section with a '書籍名' (Book Name) input field and a '+ ボタンで追加: 件まで' (+ Add button: up to items) button. There are also 'アプリケーション' (Application) and '(A) 書籍' (Books) buttons. At the bottom, there are '取消' (Cancel) and '保存' (Save) buttons. A note at the bottom states: '※ユーザーに設定を作成すると機器に作成した設定は適用されないため、アプリケーションのライセンスが回収される恐れがあります。' (Note: When creating settings for users, the settings created on the device will not be applied, so there is a risk of the application's license being revoked.)

3.3.2.2 「App とブック」 設定テンプレートを使用しない場合

個別に書籍を選択して、ユーザーに「App とブック」ライセンスを割り当てます。

- 【1】** [ユーザー] → [一覧] →一覧から対象を選択→ [「App とブック」 設定] タブをクリックします。
- 【2】** [新規作成] をクリックします。



【3】 「App とブック」ライセンス付与対象」のプルダウンメニューから、アップロードした「App とブック」場所のトークンを指定します。

- ✎ [構成プロファイルアップロード] で、App Store を表示させないようにする制限項目（「App のインストールを許可」または「App Store からの App インストールを許可」）を有効に設定している場合は、「App とブック」の参加依頼を完了できません。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - iOS」 - 「構成プロファイル」 - 「アップロード済み構成プロファイルの編集」 - 「iOS 制限設定」タブの「機能の制限」の編集

- ✎ ユーザーに複数の iOS 機器が紐づけられている場合は、「参加依頼」で参加依頼の送信方法を選択できます。

- ・自動送信：最初に同期した端末に参加依頼を送信します。（Apple ID が異なることを想定）
- ・手動送信：選択した端末に参加依頼を送信します。

【4】 「ブックライセンス付与」 - 「書籍名」に書籍を追加します。

- ✎ (A) [書籍] が選択されていることを確認してください。

- ✎  をクリックすると、新規に追加できます。

- ✎  をクリックすると、追加したアプリを削除できます。

- ✎ 書籍は、300 件まで追加できます。

【5】 配信する書籍をすべて追加したら、[保存] をクリックします。

⇒ ライセンスの仮割り当てが完了しました。引き続き「App とブック」ライセンスを本割り当てするに進みます。

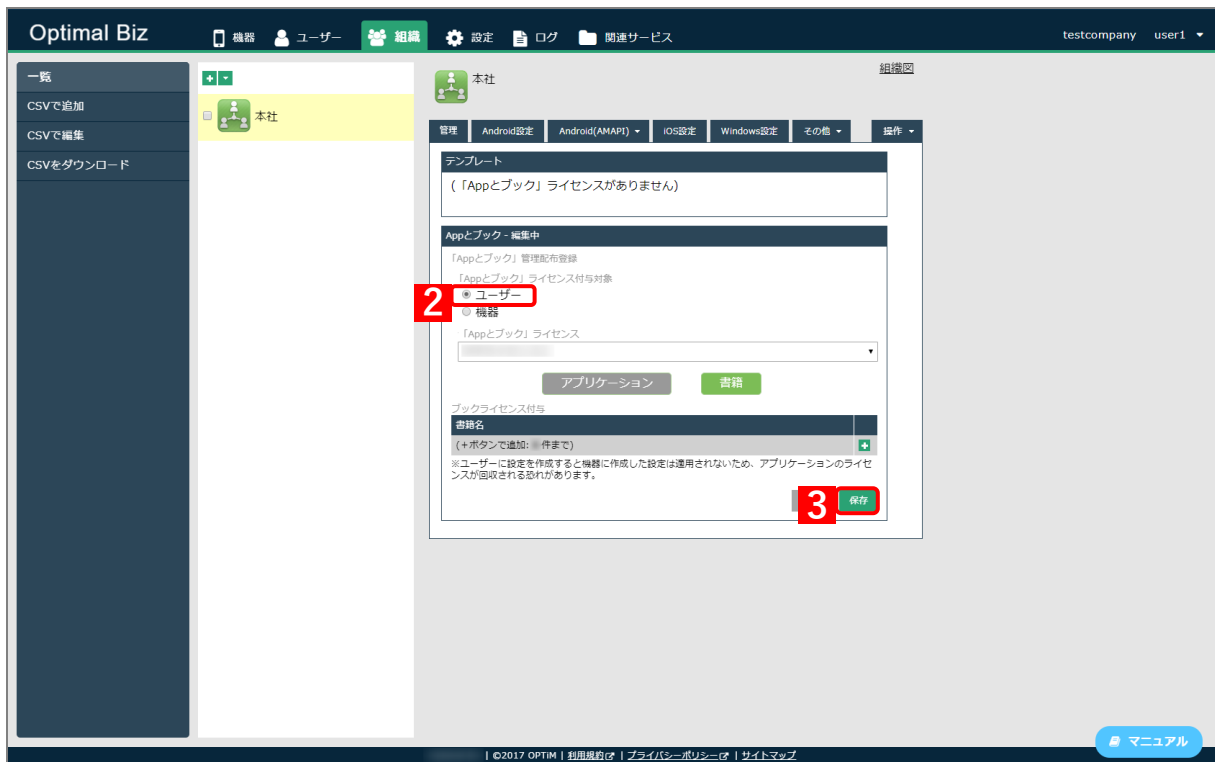
3.3.2.3 組織に一括で「App とブック」ライセンスを仮割り当てする場合

組織に紐づくユーザーに一括して「App とブック」ライセンスの仮割り当てを行います。

 組織にユーザーを紐づける方法は、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「ユーザー」 - 「一覧」 - 「ユーザーの作成」

- 【1】** [組織] → [一覧] → 一覧から対象を選択 → [その他▼] タブ → [「App とブック」設定] → [編集]
- 【2】** [「App とブック」ライセンス付与対象] の [ユーザー] を選択します。
- 【3】** [保存] をクリックします。



- ☑ ユーザーの「App とブック」設定画面に、組織で設定した (A) 「App とブック」ライセンスが表示されます。
- ☑ ユーザーに異なる「App とブック」ライセンスを設定したい場合は、[ユーザー] の「App とブック」設定画面の (B) [ユーザー個別設定] をクリックして、個別に「App とブック」ライセンスを設定してください。



3.3.3 「App とブック」 ライセンスを本割り当てする

ユーザーに仮割り当てした「App とブック」ライセンスを本割り当てします。

- [1]** [設定] → [iOS] → [アプリケーション] → [「App とブック」ライセンス] → 一覧から対象を選択 → [書籍] タブをクリックします。
- [2]** 該当書籍の「未割当数」が「1」以上の数値であることを確認します。
☒ 「0」の場合は、本割り当てできる対象がありません。
- [3]** [更新] をクリックします。
 ⇒ 「未割当数」の数値が「0」になります。（「未割当数」に表示されていた数値は、「使用数」の数値に加算されます。）
☒ Apple サーバーの処理状況によっては、情報の反映までに時間がかかる場合があります。反映されない場合は、時間をおいて再度 [更新] をクリックしてください。

The screenshot shows the Optimal Biz web interface. The top navigation bar includes 'Optimal Biz', '機器', 'ユーザー', '組織', '設定', 'ログ', and '関連サービス'. The user is logged in as 'testcompany user1'. The sidebar on the left lists various settings under 'iOS 設定', including '管理アプリの通信と動作', '設定テンプレート', '構成プロファイル', 'ADE', 'Shared iPadセキュリティ', 'アプリケーション', and '「Appとブック」ライセンス'. The main content area shows the '「Appとブック」ライセンス' screen. It has tabs for '管理', 'アプリケーション', and '書籍'. The '書籍' tab is selected, showing a table of application licenses. The table has columns for 'Store ID', '書籍名', '所持数', '使用数', and '未割当数'. A red box highlights the '未割当数' column, and a red box highlights the '更新' button. A red box also highlights the '書籍' tab in the top navigation bar.

- ☒ 「未割当数」が「所持数」を超えている場合は、ライセンスの割り当てはできません。
- ☒ 書籍の配信では、ライセンスの回収および書籍の削除はできません。そのため、特に有料の書籍を配信する場合は、配信先に十分ご注意ください。
- ☒ リモートワイプ（管理領域）を行った場合でも、書籍は端末からアンインストールされずデータが残ります。
- ☒ 仮割り当てを行ったのに「未割当数」に数値が反映されていない場合は、ユーザーの「App とブック」設定画面を確認してください。

3.3.4 配信した書籍を iOS 端末で同意する

管理サイトから書籍が配信されると、iOS 端末にダイアログが表示されます。以下の手順で同意してください。

【1】 「続ける」 をタップします。

⇒初回のみ Apple のアプリに関する使用条件およびプライバシーポリシーが表示されます。

📌iOS のバージョンによって表示される画面は異なります。



【2】 画面を一番下までスクロールして記載内容を確認のうえ、「同意する」 をタップします。

⇒書籍が端末に配信されます。



3.4 「App とブック」場所のトークンの年次更新

「App とブック」場所のトークンの有効期限は 1 年間です。有効期限を確認して、有効期限内に「App とブック」場所のトークンを更新してください。

有効期限が切れると、アプリや書籍の管理ができなくなります。また、管理サイトと「App とブック」の通信ができなくなるので、「App とブック」ライセンスの状態管理、配布および回収ができなくなります。

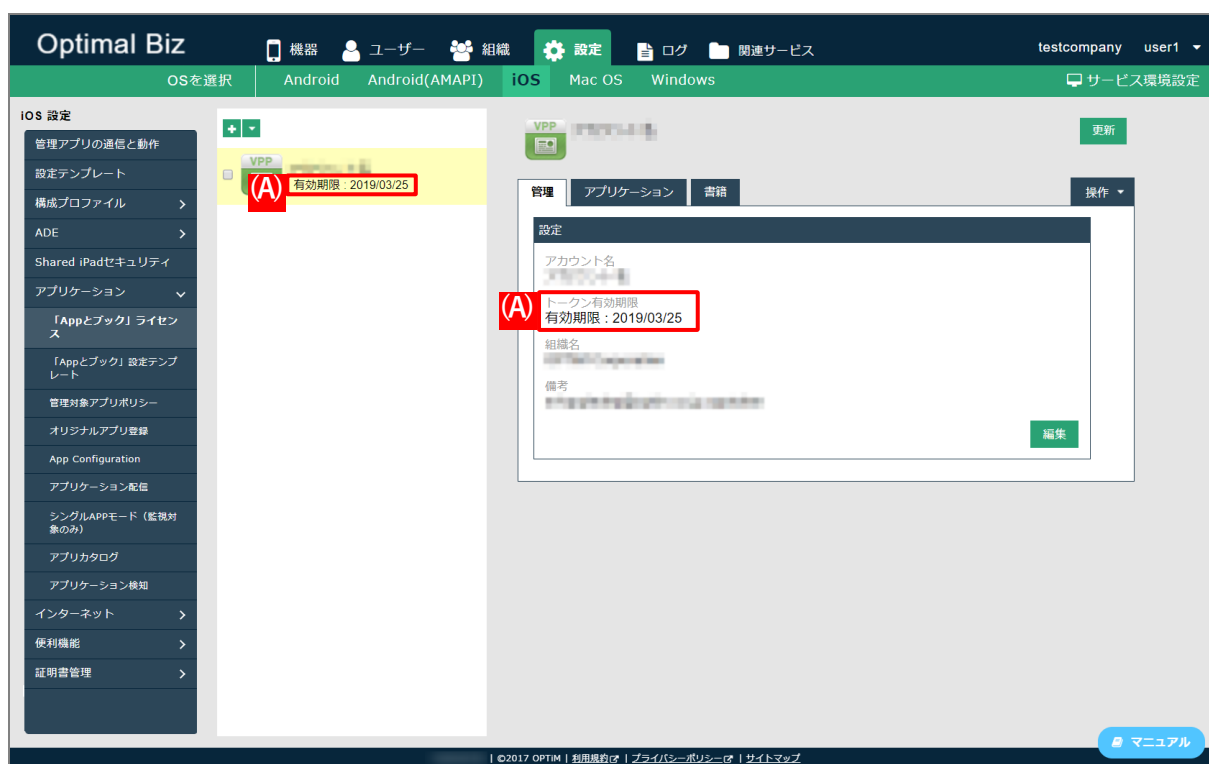
3.4.1 「App とブック」場所のトークンの有効期限を確認する

「App とブック」場所のトークンの有効期限は、管理サイトの「App とブック」ライセンスの画面で確認できます。

(A) 有効期限を確認してください。有効期限が 60 日以下になると、赤字で表示されます。

 「App とブック」ライセンスの画面の詳細は、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』 - 「設定 - iOS」 - 「アプリケーション」 - 「「App とブック」ライセンス」



3.4.2 「App とブック」 場所のトークンをダウンロードする

以下の手順で、ASM から「App とブック」 場所のトークンをダウンロードします。

【1】 ASM サイト (<https://school.apple.com>) にアクセスします。

【2】 管理者用の「Apple ID」を入力します。

【3】 ➡ をクリックします。

⇒ 「パスワード」 入力欄が表示されます。

【4】 「パスワード」を入力します。

【5】 ➡ をクリックします。

⇒ 本人確認用の「確認コード」を受け取る電話番号を選択する画面が表示されます。

【6】 「確認コード」を受け取る電話番号を選択します。

⇒ 選択した電話番号の端末に「確認コード」が SMS で送信されます。

☑ 複数の電話番号が登録されている場合は、選択肢が表示されます。

**【7】 受信したメッセージを確認し、「確認コード」を入力します。**

⇒ 6 桁の入力が終わると、自動的に次の画面に進みます。

☑ 「確認コード」に誤りがあるとログインできず、手順【5】の「Apple ID」入力画面に戻ります。



- ❏ 「確認コード」の入力後に以下の画面が表示される場合があります。(A) [信頼する] をクリックすると、次回以降に同端末の同ブラウザからサインインするとき、「確認コード」の入力が不要になります。



- 【8】 「アカウント」をクリックします。



【9】 「環境設定」 をクリックします。



【10】 「お支払いと請求」 をクリックします。

【11】 「コンテンツトークン」 から該当のトークンの「ダウンロード」 をクリックします。

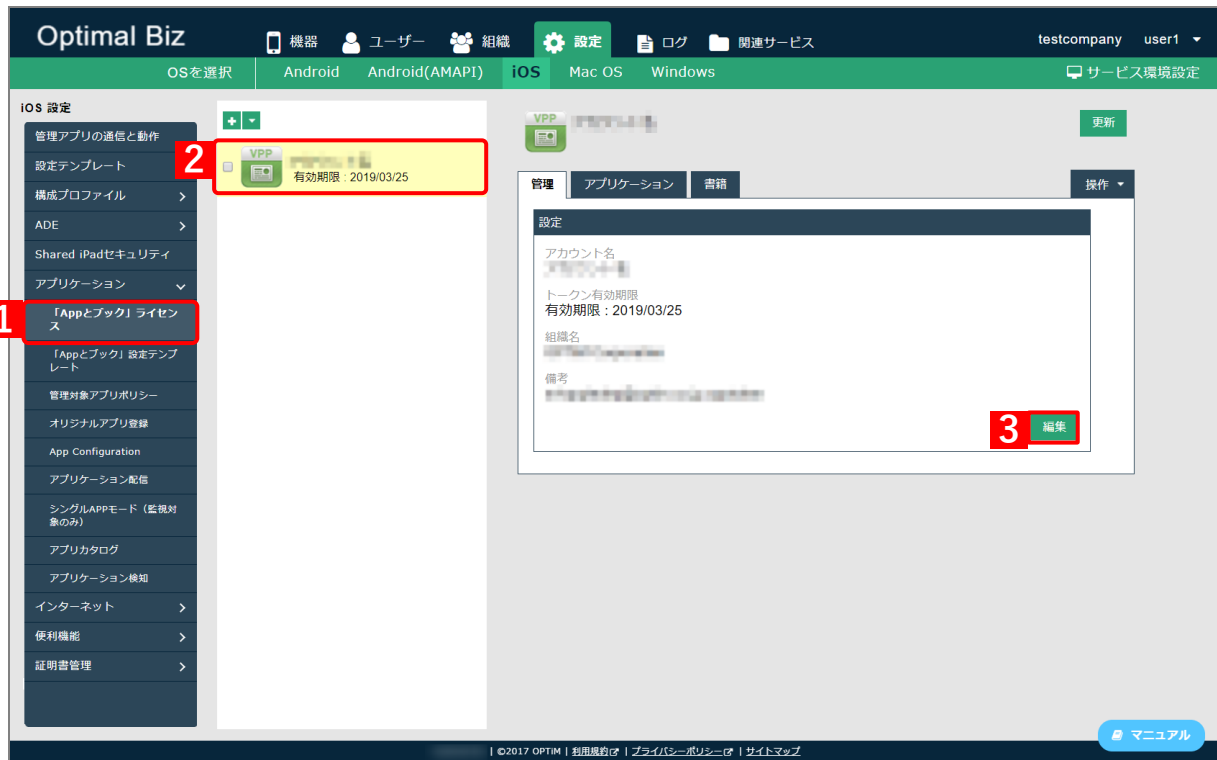
⇒ 「App とブック」 場所のトークンのダウンロードが開始されます。任意の場所を指定して、ファイルを保存してください。



3.4.3 「App とブック」 場所のトークンをアップロードする

以下の手順で、ダウンロードした「App とブック」場所のトークンを管理サイトにアップロードします。

- 【1】** [設定] → [iOS] → [アプリケーション] → [「App とブック」 ライセンス] をクリックします。
- 【2】** 一覧から対象の「App とブック」 ライセンスを選択します。
- 【3】** [編集] をクリックします。



- 【4】「アカウント名」に任意のアカウント名を入力します。
- 【5】「ファイルを選択」をクリックし、「「App とブック」場所のトークンをダウンロードする」でダウンロードした「App とブック」場所のトークンを指定します。
⇒ (A) 選択したファイル名が「ファイルを選択」の右側に表示されます。
- 【6】「備考」を入力します。
☑ ABM サインイン時の Apple ID、および「App とブック」場所のトークンの取得日の入力をお勧めします。
- 【7】「保存」をクリックします。

⇒ (B) 「「App とブック」ライセンスを作成しました。」と表示されます。(C) トークン有効期限が更新されていることを確認してください。